

関西支部だより

時習館

かんさい

第37号

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-1 グロウビル505
竹内総合法律事務所内
時習館同窓会関西支部発行
TEL (06)6949-8601
FAX (06)6949-8602
E-mail : jishukan.alumni.kansai@gmail.com

復活の兆し



京都ブライトンホテル正面玄関

関西支部総会開催 2023年6月4日(日) 11時～15時

第55回時習館同窓会関西支部総会・懇親会を下記の通り開催します。会場は京都御所まで徒歩約5分、「最も京都らしさ」の真ん中にある京都ブライトンホテルです。今まで、コロナ禍のため、慎重にならざるを得なかった同窓会活動ですが、例年の盛会を取り戻して行きたいと思っています。役員体制も新しくなりました。フレッシュな気持ちで取り組んでいきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

総会・懇親会の後、ミニ観光が予定されています。ホームページで情報をお伝えして参りますのでご覧ください。
時習館同窓会関西支部ホームページURL <http://www.jishu-kansai.com/>

記

第55回時習館同窓会関西支部総会・懇親会

と き : 2023年6月4日(日) 10時:受付開始、11時～15時:総会・懇親会

と ころ : 京都ブライトンホテル 「麗華の間」

会 費 : 10,000円 (学生 3,000円)

コロナで停滞していた活動も徐々に「復活の兆し」、本誌ではそれをキーワードにして編集しました。
(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)

もくじ

「気軽に集まろう」	竹内 隆夫 ……	1
〈支部活動報告など〉		
2022 年度支部総会・懇親会スナップ	……………	2
2022 年度第 54 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会出席者名簿	……………	5
2022 年度会計報告及び年会費納入者	……………	6
第 54 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会報告	松井誠一郎 ……	7
第 55 回支部総会～京都の「ど真ん中」に集まりましょう！～	北川 井子 ……	9
〈特別寄稿 母校、本部、他支部からの便り〉		
コロナ禍で変わったものと変わらなかったもの 時習館高等学校	清水 翼 ……	11
時習館同窓会教育基金財団設立の顛末記 時習館同窓会本部	小野 喜明 ……	15
東京支部会報「時習の灯」～「四季の訪問」のこと～(東京支部より)	織田 美幸 ……	18
時習 24 回生 50 周年イベントの実施～コロナ禍に負けず～(名古屋支部より)	松原 秀式 ……	21
〈会員だより 復活の兆し〉		
「時習する」って？～安岡正篤師の言葉“発見”～	熊谷 信哉 ……	25
丹波篠山を生活の拠点に～「心地よい暮らし」を求めて～	垣内亜佐子 ……	30
赤ちゃんの湿疹(アトピー性皮膚炎)と食物アレルギーの関係	高岡 有理 ……	33
私の趣味について	大久保 孝 ……	35
毎日“ラン・ラン”生活 ～気分転換・息抜きを兼ね～	小山 淳二 ……	37
〈会員だより 追悼文特集〉		
佐藤元彦ヤマサ会長から教わったもの～会長語録から“趣味悠遊”～	伊藤 忠男 ……	40
「京都国際マンガミュージアム」は牧野圭一最大の作品である	伊藤 遊 ……	43
〈会員だより エリア広がる関西支部会員 〉		
東京から ～よろしく！	横井 愛子 ……	47
鹿児島より ～正会員です！	吉福ゆかり ……	49
時習館同窓会関西支部規約～第 54 回関西支部総会にて改正～	事務局 ……	51
〈支部だより 支部役員と支部活動〉		
人脈の架け橋としての同窓会に～事務局長就任にあたり～	河合 行朗 ……	53
2022 年度 時習館同窓会関西支部役員	事務局 ……	54
初めて役員になられた方の紹介～新監事&新理事～	関西支部 ……	54
「ちょっと間の楽しみ」～近いがゆえに行き難い観光地～	小野 英道 ……	57
「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」～報告ならびにお知らせ～	利根川 躍 ……	59
〈事務局からのお知らせとお願い〉		
「ライン登録のお願い」「プライバシーポリシー」および「会員の動静」	……………	61
「会計からのお知らせとお願い」	……………	65
『時習館かんさい』へ投稿してみませんか&編集後記	編集委員会 ……	66

【巻頭言】



「気軽に集まろう」

時習館同窓会関西支部

支部長 竹内 隆夫（時習21）

皆様 こんにちは

昨年6月の神戸での関西支部総会で新しく支部長に選任された21回生の竹内隆夫です。

同総会では、事務局長も伊藤忠男さんに代わって、河合行朗さんが選任されました。

新しいコンビで関西支部を運営していきますのでどうぞよろしく願いいたします。

若輩者というにはいささか年を取っていますが、未熟である点はいつまでも変わりません。石川－伊藤ラインのように安定した運営は出来ないかも知れませんが、新しい時代に

相応しい新しいことを取り入れて運営していきたいと思いますので、先輩・同輩・後輩の皆様のご助力を切にお願い致します。

ここ数年は、日本のみならず、世界がCOVID-19に苦しんできました。

当関西支部でも2回の支部総会延期を経て、昨年3年ぶりに支部総会を開催することが出来ました。

今年の支部総会も昨年段階では全く見通しが立たなかったのですが、幸いにも第8波の収束を迎え、皆様と対面で楽しく歓談できそうな見通しであることを嬉しく思います。

🍷🍷🍷 2022年度
支部総会・懇親会
スナップ 🍷🍷🍷



松井実行委員長(時27)挨拶
および開会宣言



石川支部長挨拶



森島校長先生挨拶



小池同窓会長挨拶



同窓会会長から石川支部長に
記念品贈呈



役員交代 石川支部長から竹内新支部長へ
伊藤事務局長から河合新事務局長へ



司会者 鈴木優さん(時26)
と和泉さん(時27)



竹内新支部長(時21)挨拶



河合新事務局長(時20)挨拶



東理事(時44)より
プライバシーポリシー他説明



花井会計(時17)から
会計報告



鈴木(茂)さん(時 12)と奥様



小田さん(時 13)と
伊藤さん(時 13)の奥様



左から夏目さん(時 22)
尾野(あ)さん(時 8)、伊藤さん(時 13)



美馬さん(時 11)と大石さん(時 10)
松下さん(時 14)、藤田先生(時 11)
大林さん(時 6)



白井さん(時 17)と
花井さん(時 17)、山村さん(時 17)



時 18 の鈴木(康)さんと
熊谷さん



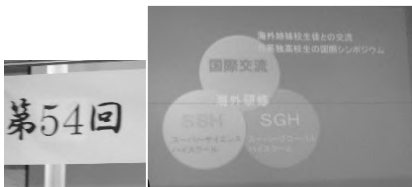
総会出席者が阿波踊りに挑戦



村田さん(時 19)
グループ“颯”の方と



松原さん(時 24)、河合さん(時 20)、大須賀さん(時 20)
岡田博さん(時 24)、鈴木自さん(時 20)



講演と
アトラクション



近藤さん(時 13) の雄姿、右は
花束贈呈 (山本さんの長女如ちゃん)



須藤先生(時 50)による
母校の現況紹介



藤田先生 (時 11) の講演風景
左の写真は峯島さん(時 44)から花束贈呈





山本諭さん(時 56)と長女照乃ちゃん



時 56 の山本(美)さんと尾野(文)さん



小野(全)副会長(時 30)



大久保さん(時 41)、小山さん(時 43)



武藤教頭先生(時 36)、鈴木(富)さん(36)
高岡さん(時 44)、東さん(時 44)



時 21 の米田さんと横井さん



時 25 の森下さんと佐野さん



時 15 の吉田さん
と山崎さん(左)



校歌斉唱、指揮は峯島さん(時 44)



北川さん(時 27)
2023 年第 55 回総会・懇親会の実行委員長



総会終了後観光に訪れた孫文記念館
右は孫文記念館の天井。立派な龍の彫り物です

2022 年度時習館同窓会関西支部 総会・懇親会出席連絡者名簿

本部来賓	氏名	回	氏名	回
会長	小池 高弘	(時25)	顧問	森島日出夫 校長先生 (時33)
副会長	大須賀憲太	(時20)	副会長	高須 博久 (時21)
副会長	福井 英輔	(時26)	副会長	小野 全子 (時30)
幹事長補佐	花田 直秀	(時22)	時習館	武藤 利昌 教頭先生 (時36)
校内幹事	須藤 絢美	(時50)		

他支部来賓

東京支部より 佐野 佳伸 組織部長 (時25)
 名古屋支部より 松原 秀式 幹事長 (時24)

来賓者を含む全出席者名簿

回	(氏名)	(勤務先他)	出身小・中学校	回	(氏名)	(勤務先他)	出身小・中学校
(時習館)				(時習館)			
6	大林 冷子		松葉小・豊城中	21	高須 博久	本部 副会長	
8	岩田 孝枝		新川小・中部中	21	竹内 隆夫	竹内総合法律事務所	三谷小・中
8	尾野あつ子		池場小・三輪中	21	横井 愛子	株式会社 諸国美味	福岡小・福岡中
10	大石由紀子	Tada Parking Lot	松葉小・豊城中	21	米田 隆子		向山小・中部中
10	菅原 民生		塩津小・付属岡崎中	22	夏目恵史子		東田小・青陵中
11	藤田 佳久			22	西井 完		宮崎小・宮崎中
11	美馬 洋子		蒲郡南部小・蒲郡中	22	花田 直秀	本部 幹事長補佐	福岡小・福岡中
12	石川吉之助	山本通産(株)	蒲郡南部小・豊城中	24	岡田 博子		松山小・中部中
12	川勝英十津		野依少・南稜中	24	松原 秀式	名古屋支部幹事長	栄小・南部中
12	鈴木 茂樹	㈱カバーオールジャパン	新川小・中部中	25	小池 高弘	同窓会会長	
	鈴木氏奥様			25	佐野 佳伸	東京支部組織部長	栄小・南部中
13	伊藤 忠男	㈱丸島アクアシステム	小沢小・五並中	25	森下 庸子	共栄製茶(株)	栄小・南部中
	伊藤氏奥様			26	鈴木 優	大阪共立(株)	蒲郡南部小・蒲郡中
13	内川 祥子			26	福井 英輔	本部 副会長	
13	小田 宗		蒲郡南部小・蒲郡中	27	和泉 裕子		新城小・新城中
13	小野 英道		三ヶ日小・豊城中	27	北川 井子		細谷小・五並中
13	近藤 洋		神戸高羽小・名古屋前津中	27	松井誠一郎	瀬川外科	花田小・羽田中
14	片岡 聰子		松葉小・豊城中	30	小野 全子	本部 副会長	
14	園家 文	書道家	杉山小・杉山中	33	森島日出夫	時習館高校校長	湖西市立白須賀小・中
14	古田 啓子			36	鈴木富美子		植田小・南稜中
14	松下 和正	地域観光ガイド	蒲郡南部小・蒲郡中	36	武藤 利昌	時習館高校教頭	幸小・高師台中
15	吉田 久善	(株)ネットアルファ	八町小・豊城中	38	山畑 幸二	大末建設(株)	岩西小・東部中
15	山崎 達彦	(株)大広		41	大久保 孝	商工中金 大阪支店	
17	白井 一次		国府小・豊川西部中	43	小山 淳二	兵庫県こども病院	一宮西部小・一宮中
17	花井 俊作	アサヒ産業㈱	松葉小・豊城中	44	東 孝次郎	(株)任天堂	岩田小・豊岡中
17	山村 信哉		豊川小・東部中	44	高岡 有理	大阪ほびきの医療センター	名古屋滝川小・南部中
18	熊谷 信哉	弓道	愛学大付属岡崎小・中	44	峯島 望美	ソプラノ歌手	栄小・南部中
18	鈴木 康浩		桜木小・豊川東部中	50	須藤 絢美	校内幹事	豊川小・豊川東部中
19	村田 節子	日本舞踊講師	松葉小・豊城中	56	尾野 文香	ピアニスト	高師小・本郷中
20	大須賀憲太	本部 副会長		56	山本 諭	商工中金 東大阪支店	牛川小・青陵中
20	河合 行朗	クローダジャパン(株)	新川小・中部中	56	山本 美帆	大阪市立啓発小学校	豊小・豊岡中
20	鈴木 自	株式会社 山善	松葉小・豊城中		山本氏長女		
21	鈴木 省三						

アトラクション : 神戸阿波踊り <ぐる〜ぶ“颯”(そう)>

模範演舞者 安田連長以下 15名 (男性 7人、女性 8人)

2022年度分 年会費納入者

2022年度分 年会費納入者（シニア会員）

杉浦 昭典 (豊47)	阿部 安博 (時12)	山崎 達彦 (時15)	富山 幸世 (時19)	横井 愛子 (時21)
彦坂 利久 (時3)	石川吉之助 (時12)	吉田 久善 (時15)	福田 明 (時19)	米田 隆子 (時21)
小野田邦重 (時4)	川勝英十津 (時12)	石黒 和廣 (時16)	村田 節子 (時19)	石田 温子 (時22)
松永 宜範 (時4)	杉浦 敏男 (時12)	岩瀬ヒロ子 (時16)	宇留島美恵 (時20)	今川 正良 (時22)
大林 冷子 (時6)	鈴木 茂樹 (時12)	井上 漢龍 (時16)	岡田 順子 (時20)	河野 法子 (時22)
廣田 襄 (時7)	伊藤 昭 (時13)	高柳 枝直 (時16)	岡田 行功 (時20)	夏目恵史子 (時22)
廣田 輝子 (時7)	伊藤 忠男 (時13)	宇井 正和 (時17)	河合 行朗 (時20)	西井 完 (時22)
岩田 孝枝 (時8)	内川 祥子 (時13)	市川 光雄 (時17)	小西 康雄 (時20)	岸本 由枝 (時23)
尾野あつ子 (時8)	小田 宗 (時13)	白井 一次 (時17)	鈴木 自 (時20)	中西 立美 (時23)
河合 馨 (時8)	小野 英道 (時13)	高島 義典 (時17)	長野 鈴代 (時20)	高桑 眞子 (時23)
片岡優美子 (時8)	近藤 洋 (時13)	花井 俊作 (時17)	松浦 茂男 (時20)	池内 真弓 (時24)
草場 恒夫 (時8)	遠藤 征宏 (時14)	山村 信哉 (時17)	三村 和男 (時20)	岡田 博子 (時24)
大石由紀子 (時10)	岡田 康彦 (時14)	吉岡 順子 (時17)	山口 隆昭 (時20)	竹内 光一 (時24)
北谷 栄治 (時10)	片岡 聰子 (時14)	池田 和子 (時18)	山口真知子 (時20)	高野 光代 (時24)
菅原 民生 (時10)	園家 文 (時14)	市原 俊彦 (時18)	鈴木加代子 (時21)	原田 典彦 (時24)
成田 一郎 (時10)	藤巻 篤子 (時14)	草尾 正治 (時18)	鈴木 省三 (時21)	宮崎 裕二 (時24)
井口 喜之 (時11)	古田 啓子 (時14)	熊谷 信哉 (時18)	鈴木 晴久 (時21)	山本 雄二 (時24)
竹内 郁子 (時11)	柵木 昇祥 (時14)	酒井 康利 (時18)	鈴木 良始 (時21)	
寺部 茂 (時11)	松下 和正 (時14)	鈴木 康浩 (時18)	竹内 隆夫 (時21)	
中村 篤司 (時11)	鈴木 寛治 (時15)	堂本こすぎ (時18)	利根川 躍 (時21)	
美馬 洋子 (時11)	藤田 和弘 (時15)	遠藤さく代 (時19)	松岡 譲 (時21)	

2022年度分 年会費納入者（正会員）

井本千津子 (時25)	鬼本英太郎 (時27)	阿久津詠美 (時30)	西岡 洋子 (時36)	渡邊 淳子 (時46)
大道 安代 (時25)	北川 井子 (時27)	菊井 昌代 (時30)	布藤 智康 (時36)	源馬 務 (時46)
加藤 公也 (時25)	野田 泰宏 (時27)	熊本 和正 (時31)	大久保 孝 (時41)	長尾 龍典 (時46)
田中 義宏 (時25)	不破 靖 (時27)	馬場奈都子 (時32)	大林 浩治 (時41)	福本 礼子 (時47)
森下 庸子 (時25)	松井誠一郎 (時27)	瀬戸 眞澄 (時33)	伊藤真理子 (時43)	吉田 知未 (時50)
鈴木 優 (時26)	藤井 順子 (時28)	直里 伸雄 (時34)	小山 淳二 (時43)	尾野 文香 (時56)
林 政司 (時26)	元木意寸実 (時28)	近田 昇 (時35)	東 孝次郎 (時44)	山本 諭 (時56)
吉福ゆかり (時26)	真木 伸治 (時29)	金井 裕子 (時36)	高岡 有理 (時44)	山本 美帆 (時56)
和泉 裕子 (時27)	両角 成宏 (時29)	鈴木富美子 (時36)	峯島 望美 (時44)	柳 菜津子 (時66)

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際にご容赦願います)

会計報告書 2022年度

(収入の部)	(支出の部)
前期繰越金 569,298	総会費 (ホテルセトレ神戸舞子) 460,500
総会会費 580,000	会報など印刷代 319,055
正会員&シニア会員年会費 357,000	通信、郵送費 73,514
支部育成費 (本部より) 150,000	出張費・交通費 86,050
寄付金 0	送金手数料 21,947
雑収入 391	雑費 (会議費など) 95,219
普通預金利息 2	次期繰越金 600,406
(合計) 1,656,691	(合計) 1,656,691

以上のとおりであります。

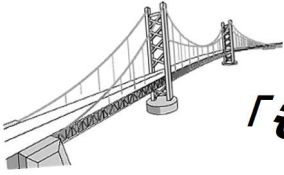
2023年4月1日 会計 花井 俊作

2022年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2023年4月1日 監事 鈴木 省三

注：紙面の関係上、第54回総会にて承認されました2022年度役員、規約は「支部だより」および「会員だより」に掲載しています。2022年度会計報告は第55回時習館同窓会関西支部総会にて審議を予定しています。

総会報告



「もうすぐ新型コロナを乗り越えることができる」と確信して

～第54回時習館同窓会関西支部総会・懇親会報告～

実行委員長（副支部長） 松井 誠一郎（時習 27）



2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症はその後瞬く間に世界にひろがりました。それに伴い、2020年6月に行われる予定であった総会・懇親会は延期され、やっと2022年6月19日、明石海峡大橋の見える「ホテルセトレ神戸・舞子」で開催されました。

出席者は65名、そのうち関西支部の会員は51名です。少し少ないとは言え、コロナ禍であること、久しぶりの総会・懇親会であることを考えますと、盛会であったと思います。



第54回総会会場：ホテルセトレ神戸・舞子

今回の総会・懇親会は、3年ぶりに顔を合わせるといふ待ちに待った特別の日、というだけでなく、支部長、事務局長を初めとする役員交代を承認する意義深い会でありました。

○総会

まず初めに実行委員長（筆者）より本総会に至る経過と開会宣言で総会がはじまりました。

11時より鈴木優氏（時 26）の司会で、石川吉

之助支部長（時 12）、小池高弘同窓会本部長（時 25）、森島日出男校長各位のご挨拶のあと、議事が進行しました。

・1号議案：会計報告 総会が開催されない年があったため、花井俊作会計役員（時習 17）により2019年度、2020年度、2021年度の3年分の報告がなされました。利根川躍



支部長は石川氏から竹内氏に交代

監事（時習 21）は欠席のため、監査報告は代読され、この議案は承認されました。

・2号議案：役員改選の件 石川吉之助支部長と伊藤忠男事務局長（時 13）は、それぞれ竹内隆夫氏（時 21）、河合行朗氏（時 20）にバトンタッチされました。その他、副支部長、理事などの何名かの交代および新たな役員を加えて、2022年度の役員が承認されました。新役員の紹介と新支部長の挨拶の後、次の議案に移りました。

・3号議案 同窓会規約改正 支部長交代に伴う事務局の変更と会員規定を変更し、関西以西および関西と縁の深い方を加える改正が行われました。さらに、時代の変化に応じたものにするため、ホームページやオンライン会議、プライバシーポリシーなどに関する事項を盛り込んで、いくつかの点で改正が行われ、この総会において承認されました。

・4号議案 2022年度の活動計画と予算計画が新事務局長および新会計から行われ、議事が終了しました。

議事終了後、長きにわたり時習館同窓会関西支部を牽引されてきた石川支部長、伊藤事務局長に、感謝の意を込めて花束の贈呈が行われました。



河合新事務局長より
伊藤事務局長に花束贈呈

○特別記念公演

今回、懇親会終了後に明石海峡大橋のたもとにある孫文記念館を見学することになっているため、孫文に縁ある愛知大学の名誉教授藤田佳久先生(時 11)にご講演を賜りました。演題は「愛大を誕生させたビジネススクール東亜同文書院物語」、中国調査旅行により明らかにされた近代中国の地域像が話の中心でした。また、愛知大学の前身である、上海に設立された東亜同文書院大学の果たした役割やそこで輩出された多くの外交官などの活躍も紹介されました。



講師の藤田先生

○懇親会

司会に和泉裕子さん(時 27)が加わり、竹内新支部長の開会宣言のあと、乾杯。続いて御来賓の挨拶、そして校内幹事の須藤絢美先生(時 50)の解説付きで母校の現況のビデオが放映されました。

母校の教育理念、教育目標に添って、本年度の重点目標として「挑む時習館」～高き志と果敢な挑戦～が掲げられているとの紹介がありました。

また、国際交流として海外姉妹校との交流や日英独の生徒国際シンポジウムなどの報告がありました。

その後、いつも懇親会終了時に歌われる校歌は、今年は都合で懇親会の最初になりました。オペラ歌手峯島望美さん(時 44)の指導のもと、3年ぶりの校歌でした。歌が始まり、それまで閉じられていた窓のスクリーンが開くと、明石海峡大橋が眼前に現れ、なおいっそう感慨深い校歌斉唱となりました。これからは明るい未来が待っていると、そんな気になったのは、私だけでしょうか。



アトラクションの阿波踊り
中央が近藤洋氏(時 13)

なごやかに歓談するうち、笛やお囃子が聞こえてきました。今回のアトラクションは、近藤洋氏(時 13)がメンバーとして加わる神戸舞子の「ぐる～ぶ“颯”(そう)」による阿波踊り。力強い男踊り、そして編み笠をかぶり艶やかに踊る女おどり、見ているだけでも心がウキウキします。踊りが一通り終わると、懇親会出席者も何名か加わり、阿波踊りの手ほどきがありました。

懐かしい顔と、美味しい料理、あっという間に楽しい時間が過ぎました。最後は若手の大久保孝氏(時 41)と小山淳二氏(時 43)の音頭により三三七拍子で締めくくられました。

そして午後3時ごろ、次年度の総会が京都開催ということで、京都在住の北川井子新副支部長(時 27)の挨拶で閉会となりました。

懇親会終了後は、希望者による孫文資料館の見学会が行われました。



総会后、観光に訪れた孫文記念館

総会の呼びかけ

京都の「ど真ん中」に集まりましょう！

～第55回時習館同窓会関西支部総会・懇親会に寄せて～



実行委員長（副支部長） 北川 井子（時習27）



2023年度第55回時習館同窓会関西支部総会・懇親会は、「京都ブライトンホテル」で開催致します。

思い起こせば、2019年12月中国武漢市で第1例目のコロナ感染症の感染者が報告され、世界的なパンデミックの中、3年余りの間、私たちの生活もいろいろな場面での自粛や行動の制限を余儀なくされました。そんな中でも、昨年の総会では、神戸在住の理事の皆様のご尽力により、3年ぶりの総会が開かれました。マスク越しではありましたが、久しぶりの皆様との再会に、心和む楽しいひと時となりました。

今年3月には、やっと行動制限やマスク着用などの考え方も緩和され、少しずつ、日常が戻ってきています。まだまだ、基本的な感染対策（手洗い、3密の回避、換気、マスクが効果的である場面などでの着用）は必要ですが、久しぶりにマスクを外した笑顔を見合わせながら、楽しい総会・懇親会にしたいと、実行委員一同、今から楽しみに企画しています。

2022年度総会で役員を一新し、新しい体制での初めての総会となります。懇親会では、あえて講演やアトラクションは割愛、懇談の時間を多く取りました。皆様の近況報告など会員同士の親睦を図りながら、今後の関西支部同窓会のあり方なども模索する場となればと思います。

会場となる京都ブライトンホテルは、京都御所まで徒歩約5分、まさに京都のど真ん中にあるホテルです。茶道三千家や神社仏閣、歴史ある大学に囲まれた閑静な住宅地にあり、周辺には、和菓子や醤油、味噌、酒など京の食文化を支えてきた老舗も軒を連ねます。総会終了後には、それらの老舗や文化の一端に触れる観光コースも企画中です。京都の一日を楽しんでいただけたら幸いです。

それでは、2023年6月4日、京都ブライトンホテルでお会いしましょう。



ホテル近くの京都御苑（上）と護王神社（左）と虎屋菓寮



京都ブライトンホテル全景（上）と会場となる麗華の間

特別寄稿

母校、本部、他支部 からの便り



母校よりの報告

申



ポセイドン像

コロナ禍で変わったものと
変わらなかったもの

時習館高等学校教諭

清水 翼 (時 57)



時習館同窓会関西支部の皆様には、本校の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症を取り巻く様々な規制が緩和の方向に向かう中、本校の学校生活も徐々にではありますが、コロナ禍前の状況を取り戻しつつあります。本稿では、令和4年度の本校の取組を皆様に報告いたします（記事の内容は令和5年3月現在のものです）。

○令和4年度の学校行事

令和4年度の学校行事は、実施形態の変更を一部余儀なくされながらも、予定していたものを全て実施することができました。

昨年度の記事では、2度にわたる修学旅行の延期（その後、3月に行き先を兵庫・京都・奈良に変更して実施）を取り上げましたが、今年度は6月に長崎・福岡・山口への修学旅行に出かけることができました。最初の目的地である長崎は、昨年新幹線が開通したものの、愛知県からは足を運びづらい地といえます。被爆地であり、独自の文化が根ざす長崎に、生徒が修学旅行で訪れることができたのは大きな意義があると感じます。

9月の時習祭で特筆すべきは、体育祭後に行われるファイヤーストームです。来年度に創立130周年を迎えるにあたり、イベントとして、演舞終了後の打ち上げ花火を同窓会よりプレゼントしていただきました。



第1グラウンドに打ち上がる花火

なお、創立130周年を迎えるということ全校生徒へ周知するという趣旨を鑑み、ストームの演舞から打ち上げ花火までを、希望する女子生徒も観覧できるようにしました。

約一週間にわたる時習祭のフィナーレとしての雰囲気も相まって、生徒は薄暮の空に光り輝く花火に、しばしの間魅了されていました。

コロナ禍により学校生活から姿を消したものの一つに、校歌斉唱があります。従前は毎学期の始業式と終業式、そして卒業式という節目ごとに、ピアノ伴奏による校歌斉唱を行ってきました。しかし令和2年1月の始業式以来、体育館で校歌を歌うことができていませんでした。それから約3年経った今年3月の卒業式で、マスクを着用しながら、また2・3年生のみではありましたが、校歌斉唱を行うことができました。3学年の生徒が揃って体育館で校歌を歌うことができる日が一日も早く訪れることを祈念しています。

○姉妹校交流も少しずつ再開

姉妹校交流では、マレーシア姉妹校への訪問を3年ぶりに再開しました。SSH（スーパーサイエンスハイスクール）及びAGH（あいちグローバルハイスクール）の合同での事業として、本校から14名、また愛知県内の他校から4名の生徒とが、本校教員4名と共にペナン州にある姉妹校（ジッ・シン校）を訪問しました。姉妹校では、生徒が年度当初から取り組んできた探究活動に関する発表や、文化交流を行いました。他にも在ペナン日本国総領事館やマレーシアサイエンス大学、科学技術関連企業を訪問し、最先端の科学技術と伝統文化が共存するマレーシアで、今後求められる「国際性」について学ぶことができました。昨年度の記事にあるように、姉妹校とはオンライン交流を行っていましたが、やはり対面での交流に

は勝りません。来年度5月末には、先方の生徒及び先生方の来日が予定されています。これを契機に、英国・ドイツ姉妹校を含めた姉妹校交流をより活性化させることができたらと思います。



姉妹校ジッ・シン校での全校集会の様子
(中央奥に、マレーシア研修の参加生徒がいます)

○部活動等でのめざましい活躍

学業だけでなく、部活動や課外活動でも自己に挑戦する生徒の姿が多くみられます。

まず陸上部では、5名の生徒が東海高校総合体育大会に出場しました。そのうち3年生1名が女子走高跳で優勝し、徳島県で開かれた全国高校総合体育大会（インターハイ）に出場しました。大会では自己ベストとなる1メートル70センチの記録を収め、全国8位に入賞しました。

次に放送部では、「NHK 杯全国放送コンテスト」アナウンス部門で、3年生の生徒が愛知県大会で最優秀賞を収め、全国大会に出場しました。この生徒は放送部と演劇部の活動を両立させ、その経験から得た内容を発表しました。

更に、美術部の3年生の絵画作品が全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門に出品されたほか、SSH 生物部の2年生2名のポスター発表が春季日本水産学会で奨励賞を受賞、同じく2年生と1年生による研究が、朝日新聞社・テレビ朝日主催「JSEC 第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ」の植物科学部門で入選しています。また部活動の大会ではありませんが、ラグビー部に所属する2年生が「KOBELCO CUP 2022 全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」に東海代表として出場するなどの活躍もみられます。

これらの生徒を応援するため、同窓会から横断幕を寄贈していただき、国道259号線沿いに掲示しました。また、部活動で上位大会に進出する生徒には、同窓会から激励金を支出していただき、その旨を壮行会で全校生徒に伝えています。



国道259号線沿いに掲示された横断幕
(生徒名は加工してあります)

○トイレを改修していただきました

今年度、手洗い場横（購買横）にあるトイレを同窓会の御支援の下に改修していただきました。

このトイレは教室棟に近く、生徒が日常的に使用する場所であり、休日には部活動の公式戦や練習試合で訪れる他校の生徒も使用しています。照明が蛍光灯からLEDライトになり、洋式便座も整備されました。本部総会等で来校される機会がありましたら、ぜひお立ち寄りください。

○大学入試の直前にみられた光景から

本校の3年生の多くが、進路実現に向け、1月に大学入試共通テストを受験します。その前日に以下のような光景を目の当たりにしました。



手書きのメッセージ

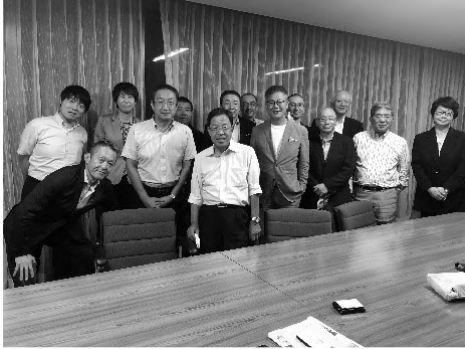
2年生（76回生）の教室の窓に、色画用紙で貼られた手書きのメッセージです。「自分を信じて」「粘り強く」「GO FOR IT」といったメッセージは、南側の棟で学習に励む3年生（75回生）に向けたものです。その3年生が2年生だった昨年度も、同じように当時の3年生（74回生）に向けてメッセージを送っていました。異学年間でこのような交流ができるのは、学年ごとに校舎が並ぶ本校ならではのことでございます。また別の場所に

は、生徒会執行部のアイデアによる「がんばれ3年生」と描かれた電飾も設置されました。

8月、全国高等学校野球選手権大会で優勝した仙台商英高校の監督が語った「青春って、すごく密なので」という言葉が話題となりました。学校生活は人と人とが関わる場面に満ちており、生徒はそこから他者との関わり方を学びます。先述の

光景にみられる3年生を応援する姿勢も、学校行事や部活動等から得られた先輩・後輩の関係に基づくものといえます。コロナ禍で教育を取り巻く環境は大きく変わりましたが、このように変わらなかったものもあることを、母校に勤務する者として嬉しく感じると共に、「不易」と「流行」を意識することの大切さを再認識した次第です。

時習館高校創立130周年記念式典及び記念事業



時習館高校は今年で創立130年を迎えます

河合事務局長（左前列中央）が2022年10月に開催された実行委員会に出席。そこで配布された創立130周年記念事業（案）です。そのまま掲載します（小さな文字で見難いことご了承下さい）



時習館創立130周年実行部隊20230403

1. 開催概要

基本方針

- ・現役生が**文武両面**でさらに活躍できるように支援する。
- ・**世界中で活躍する同窓生**と母校との関係性をさらに高める。（※1）
- ・母校への継続的な支援に向け、同窓生の**ネットワーク**を再構築する。



（※1）時習館同窓会
Europe Assembly

DAY 1

日時：令和5(2023)年**10月27日（金） 午後**
会場：**アイプラザ豊橋** 講堂（収容人数1469名）
対象：現役生・教職員・PTA・来賓・同窓会役員
構成：**記念式典**
記念講演会

DAY 2

日時：令和5(2023)年**10月29日（日） 午後1時00分～5時00分**
会場：**愛知県立時習館高等学校** 体育館及び各教室
対象：（記念フォーラム）同窓生・**現役生**・PTA・教職員（学校長及び本校卒業生）・**一般**
（記念セレモニー）同窓生・現役生・PTA・教職員（学校長及び本校卒業生）
構成：**記念フォーラム「JISHUKAN OPEN ACADEMY 2023」**
同窓会記念セレモニー及び交流会

主催

時習館創立130周年実行委員会

2. Day1:記念式典及び記念講演会

概要 事業：創立130周年を祝う式典の開催と**世界的に活躍する著名人**による記念講演会（※2）の開催。
 日時：2023年（令和5年）10月27日（金） 午後
 場所：アイプラザ豊橋 講堂
 参加者：1000名（想定内訳：現役生900名+教職員+PTA+来賓）

目的 式典：130年の歴史と伝統を振り返るとともに関係各所へ**感謝の気持ち**を示す。
 講演会：現役生の**国際的視野**を広げるとともに**知的好奇心**を高める。

講師 **世界的に活躍する著名人**

- ・講師の候補者は学校にて選定し、実行委員会に提案する。
 ノーベル賞受賞者/自然科学者/人文科学者/社会運動家/ほか
- ・講師の交渉に際しては、**同窓会のネットワーク**を活用する。
- ・講師候補（案）
 天野 浩 氏（2014年ノーベル物理学賞）
 野口聡一 氏（宇宙飛行士）
 若田浩一 氏（宇宙飛行士）

講師 ケンブリッジ大学フェロー 時枝 正氏
 演題 おもちゃで探る物理

◆プロフィール
 現在、ケンブリッジ大学Trinity Hallのフェロー（准教授）、ハーバード大学や南アフリカ、フィンランドの大学などで教鞭をとる。1969年（昭和44年）東京生まれ、中学生からフランスで過ごし、オックスフォード大学で数学の学士を取得。その後プリンストン大学で博士号取得。専門は流体力学、シンプレクティック幾何学。言語学にも長けており、日本語も流暢。英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、フィンランド語、ラテン語を話す。



（※2）時習館120th「記念講演会」

3. Day2-1:記念フォーラム「JISHUKAN OPEN ACADEMY 2023」

概要 事業：各界で活躍する同窓生が講師を務める**スクール形式の講演会**の開催。（※3）
 日時：2023年（令和5年）10月29日（日） 13:00～15:00（2限制）
 場所：時習館高校の各教室 24教室（20学年+PTA2+学校2）+予備教室（サテライト会場）
 参加者：各教室40名（想定内訳：現役生10名+同窓生25名+一般5名）

目的 現役生：各界のプロフェッショナルの話を聞くことで、将来の**進路選択**の一助とする。
 同窓生：フォーラムを機に同窓生が一堂に会することで、人材の**ネットワーク**を再構築する。
 一般：地域へ学びの場を提供することで、**地域社会に貢献**する。

講師 **32回生～51回生及びPTA、学校から選出**

裁判官/宇宙開発担当者/市長/美術博物館学芸員/京都大学農学研究科教授/図書館長/国道交通課長/テレビ高報道局政治部長/ヨーロッパ現地法人代表/外務省/デパート/私立高校校長/ベンチャーキャピタル代表/詩人ほか




「誰と心ほどまで理解できるようになったか？」
 木下 専 氏（1942年10-30期生）
 「ゴリラの撮影と保護活動、そして戦乱～」
 河辺 智弘 氏（1958年12-70期生）

（※3）時習館120th「JISHUKAN OPEN FORUM 2013」

3-2. Day2-1:記念フォーラム「JISHUKAN OPEN ACADEMY 2023」

申込	本部同窓会HPにある 申し込みフォーム から申し込む。（※4）
広報	現役生：学校を通じて、 案内用紙 を配布。 同窓生： 学年毎の連絡ツール （グループLINE、Facebookページ等）にて案内。（※4） 一般： 地元新聞やラジオ 等を通じて情報発信。（※5）
受付期間	現役生：2023年7月～ ※優先受付 同窓生：2023年9月～ 一般：2023年9月～
当日の流れ	10:00 会場準備 12:30 受付 13:00 1限目 13:50 放課 14:10 2限目 15:00 終了 ～15:30～ 体育館にて記念セレモニーを開催
特記	・教室の定員を超えた場合は、予備教室を使用しオンライン配信を行う。 ・学校にあるプロジェクターとスクリーンを借用する。



（※5-1）時習館120th 新聞報道
 （※5-2）やしの実FM「はんにゃ金田のちよいのめり」

4. Day2-2:同窓会記念セレモニー及び交流会

概要 事業：同窓生が一堂に会した**式典と記念アトラクション**の開催。（※6）
 日時：2023年（令和5年）10月29日（日） 15:30～17:00
 場所：時習館高校の体育館
 参加者：800名（※120th 830名参加）

目的 同窓生が一堂に会することで、母校に対する**愛着と関心**をさらに高める。
 130周年以降の母校のさらなる発展に向け、同窓会の**基盤を強化**する。
 120周年からの10年間をふりかえり、後世のために**記録を残す**。

次第 第一部：記念セレモニー

1. 主催者挨拶（小池高弘実行委員長）
2. 歴代同窓会長挨拶
3. 同窓会からの報告（一般財団法人時習館同窓会教育基金・時習館本部同窓会・各支部同窓会（※7）ほか）
4. 学校長挨拶 ※7:各支部同窓会：東京支部/名古屋支部/関西支部/西三河支部/蒲郡支部/ヨーロッパ支部

第二部：交流会

1. 130周年のあゆみ（VTR上映）
2. 部活動紹介（VTR上映）
3. お礼の言葉

特記 第1部を遠方の同窓生に向けて**オンライン配信**を行う。
 同窓会HPに動画をアップロードし視聴できるようにする。
 参加者に記念品の**ブラックサンダーあんまき**（※8）を配布。
 ユーラク製菓 河合社長（52回生）



（※6）時習館本部同窓会 総会



（※8）見本：時習館オリジナル
 ブラックサンダーあんまき

本部よりの報告



時習館同窓会教育基金財団設立の顛末記

～教育基金への協力お願い～



同窓会本部副会長

小野喜明（時 29）

2022年4月から活動をスタートした（財）時習館同窓会教育基金については『時習館かんさい』第36号で同窓会本部副会長兼教育基金理事長の安形哲夫氏（時 24）がご紹介しました。

教育基金発足から1年が経過しました。

そこで今回は教育基金が産声をあげるまでの苦労話などを織り込み、その経緯を詳しくご報告いたします。

○他校の先行事例

令和2年12月本部同窓会三役会が豊橋のホテルで開催されました。本来の議題は「コロナ禍で次回の総会をどうするか」ということでした。予想できない中「実施する方向」で決定されました。会議中、安形哲夫副会長から「時習館高校の奨学金財団をつくったらどうか」という提案がなされました。その時に資料として提出されたのが、埼玉県浦和高校の公益財団法人の記事です。その内容は、浦和高校ホームページによると

「奨学財団の支援内容としては、海外研修生派遣奨学金、留学奨学金、修学奨学金及び進学奨学金の四種類の奨学金があります。いずれも返済の義務はありません。海外研修生派遣奨学金については、夏季の短期留学に加え海外研修をより幅広く支援できるようにいたしました。平成25年度から令和2年度までの8年間にイギリス、アメリカなどに191名を派遣しています。」

とありました。

ご存じのように、時習館高校も平成26年からSSグローバルスクール、スーパーサイエンスハイスクール、あいちグローバルスクールなどで国際的な姉妹提携を行っていて、同窓会としても支援を続けています。役員一同「あったら素晴らしい」という意見ばかりでしたが、問題はどうかしたら財団法人が作れるかということでした。その夜はそれで散会となりましたが、名古屋にある財団専門の税理士に相談し、準備に入りました。そもそも、公益財団法人をもつ高等学校は全国でも少なく、埼玉県浦和高校、川越高校、東京都日比谷高校、神奈川県湘南高校、愛知県西尾高校、鹿児島県鶴丸高校と、同窓会が母体となった財団法人は数えるほどです。日比谷高校の同窓会は同窓会会館の運営を行い、奨学金もだしています。大学の同窓会や企業による社会貢献のための財団に、その他日本育英会などがあるのみです。そのため、それ以上進展しませんでした。

○篤志家OBから多額の寄付申し出

そうこうしているうちに翌春になり、森島日出夫校長のところに大変な申し入れがありました。ある卒業生（仮にA氏として）が時習館高校に1億円の寄付をしたいという話でした。校長は小池高弘同窓会会長と相談の上、A氏の自宅を訪問し確認することになりました。

令和3年5月の同窓会総会では、公表はできませんでしたが、役員の間ではそのことが話題となりました。一旦白紙となった財団法人設立の件が

にわかに現実のものとなり、同窓会役員会三役会で2回にわたり検討しました。

2021年令和3年8月の理事会で正式に決定し、臨時総会にかけることになりました。

○同窓会が設立にゴーサイン

10月15日に豊橋商工会議所で異例の同窓会総会が開催されました。通常の5月の定時総会とは雰囲気も違い、熱気すら感じられる総会でした。財団法人設立に関する件「同窓会から財団基本金として300万円を拠出する」ことについて賛同を得ました。この間、財団に必要な評議員会、理事会など2回の役員会が行われました。

その後、大須賀憲太副会長の司法事務所で財団登記をお願いし、定款については、名古屋の財団専門の税理士に指導を受けました。

理事、監事、評議会役員は別記のとおりです。小池高弘同窓会会長、安形哲夫理事長、また三役会の皆様のご協力なしには今回の設立に至らなかったと思います。これも全て時習館高校を良くしたいという同窓会の熱意によるものと思われま

す。令和3年（2021年）10月22日岡崎法務局へ登記、受理され、晴れて、一般財団法人時習館同窓会教育基金が設立されました。

森島校長と小池会長はこの間、さらに2回寄付者を訪問しています。ご本人の意志を出来るだけ尊重したいとの思いでした。また、寄付者のお名前の公表についての相談もさせていただきました。これは、固く固辞されました。実は、豊橋市を通じて同じような寄付を市内の中学校に行った際もお名前は公表されていませんでした。寄付者A氏のお人柄と母校の教育に使ってほしいという意志が感じられました。11月にはA氏よりお約束通り多額の寄付がありました。

一般財団法人としての設立はできましたが、本来「公益財団法人」取得を目指していました。それは寄付される方の所得税控除ができる制度があり、控除額金額は公益財団や国、地方公共団体への寄付に限り、①その年の支出した寄付金

額の合計 ② その年の総所得金額等の40%相当額の①か②のどちらか低い金額から2000円引いた金額が控除できる制度です。公益財団を取得することにより卒業生の方が寄付依頼しやすくなるのではとの思いからです。

○他校からの留学も対象

ホームページに掲載をして公表することで、他の高校卒業生の留学奨学金にも対応できるようにしなければなりません。これも公益財団法人を取得するための条件となっているからです。

さらに、法人格に変更するには、一般財団法人の活動実績を経ることが必要です。

そこで、財団の定款には次のような目的を掲げました。

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 奨学金の給付
- (2) 海外留学の支援
- (3) 国際交流の支援
- (4) 国際交流を行う補助教員に対する支援
- (5) 愛知県立時習館高等学校に対する教育環境改善のための寄付
- (6) その他この法人の目的を達成するための必要な事業

○財団の活動実績：新聞記事で寄付相次ぐ

設立した令和3年度（会計決算日毎年3月31日）は寄付を受けるだけの年になりました。



奨学金募集のポスター

令和4年度は海外研修がコロナ禍のため実施されませんでした。奨学生の募集を夏ごろから行い、その結果、経済環境の厳しい修学生3名の生徒に支給されました。教育環境改善のため、外構にあるトイレの改修も行なわ

れました。また、森島校長に委託して少額の寄付事業を生徒のために実施していただきました。

修学奨学金について、記者発表した時の新聞記事効果として、寄付が続いています。恒例になっている卒業後 25 周年、50 周年卒業生からの寄付も令和 4 年からは同窓会本体から財団の方へ寄付先を変更していただいています。



新聞記事 令和 4 年 11 月 17 日

○母校の海外研修事業を支援

現在、令和 5 年度の計画を立案する時期になりましたが、昨年度と同様に奨学生の募集を行い、時習館高校が行う海外研修事業にも支援をする予定です。奨学金を支給するためには、財団への寄付金のお願いが必須となっていますので、本部、支部他いろいろな場所での公募、広報を行いたいと考えています。財団の資産である資金の安定運用も理事会で検討して行きます。

○同窓会の皆様の協力をお願いいたします

同窓会と同じように、時習館高校の卒業生の方に役員になっていただいています。当然無償のボランティア活動なので、ご負担もかかり、大変なご尽力をいただいています。関西支部の皆様にも、財団の現状と今後の夢の実現に向けご理解賜りたくお願い申し上げます。寄付金を依頼するにあたり、下記に銀行口座を記しておきます。

○振込先と連絡先

★寄付振り込み口座

蒲郡信用金庫

本店営業部 店番 0 3 1

普通口座 2 0 9 9 4 2 1

一般財団法人時習館同窓会教育基金

理事長 安形哲夫

★連絡先

この件についてのお問い合わせは一般財団法人時習館同窓会教育基金担当理事 小野喜明まで ご連絡ください。

住所 〒442-0024

愛知県豊川市西豊町 2 - 3 5

電話番号 0533-85-1110

(株式会社トヨタック内) 以上

【別記】一般財団法人時習館同窓会教育基金 理事・監事および評議員

★理事・監事

役職	卒業回	氏名
理事	時 20	大須賀 憲 太
理事	時 21	高 須 博 久
理事	時 24	安 形 哲 夫
理事	時 29	小 野 喜 明
理事	時 30	小 野 全 子
理事	時 33	石 川 誠
監事	時 22	伊 藤 眞 芳
監事	時 16	大 河 一 夫

★評議員

評議員	時 25	小 池 高 弘 (同窓会会長)
評議員	時 24	富 田 佳 央
評議員	時 19	小 林 佳 雄 (同窓会前会長)
評議員	時 22	花 田 直 秀
評議員	時 25	日 比 孝 志
評議員	時 26	福 井 英 輔
評議員	時 28	小 栗 俊 朗

特別投稿



石川監督の映画「愚行録」
DVD カバーより

東京支部会報「時習の灯」 ～「四季の訪問」のこと～

東京支部編集委員 織田 美幸（時習 26）



昨夏 8 月、東京支部の「夏の懇親会」において関西支部の前事務局長である伊藤忠男さん(時 13)と知己を得た。会誌の編集に携わっているため、懇親会についての寄稿をお願いしたところ快諾をいただき、「布衣の友」という素晴らしい記事を掲載することができた。その返礼(?)か、今度は私が『時習館かんさい』に寄稿をするようお声掛けがあった。何を書こうか?…それならば、東京支部の会誌『時習の灯』(以下『灯』とする)について書いてみることにした。

秋で 242 号を数えた。

鹿児島に移住された同期の吉福ゆかりさんに誘われて私が編集に携わるようになって 20 年余が経つ。

『灯』には支部活動の様々な報告記事の他に、長年続いている企画シリーズがいくつかあり、中でも花形記事は「四季の訪問」だと思っている。読者だった頃、『灯』が届くと真っ先に読むのはここだった。いまは残念ながらコロナ禍で対面取材が叶わず、休止している。



「夏の懇親会」



筆者：『時習の灯』を手にして

○ 昨秋で 242 号を迎えた『時習の灯』

『灯』が『時習館かんさい』と違うのは年に 3 回(春夏秋)発行していること、頁数は基本 16 頁、会員からの自由投稿よりも報告記事が主ということだろうか。どちらも支部に住む同窓生の情報の要の役割をしていることは間違いない。『灯』は昨

○ 「四季の訪問」 人材豊富な時習館同窓生

「四季の訪問」は様々な分野で活躍する同窓生ひとりをまず選び、その方を編集委員数名が囲んで、生い立ち、高校時代のエピソード、更には仕事や専門分野について詳しく伺い、担当の 1 人が 2 ページの記事にまとめ上げるもの。レコーダーを何回も聞き直し、メモも参考に、その方の素晴らしさが同窓生に伝わるよう記事にする。苦しいけれど、出来上がって対象者のお目通し後に諾サインがいただけた時の達成感は非常に大きい。編集委員をやっていて良かったと思う時である。

「四季の訪問」で一番大変なのは対象者選び。同期からの推薦もありがたく、立派なお医者様や大学の先生も数多く登場していただいた。ただ、もう少し異色の人はいないものかと編集委員で探すこともある。この 20 年に登場していただいた方々の顔が浮かぶ。女性自衛官、国際派弁護士、演出家、心臓外科医、脳神経外科医、土壌の専門家、河川工学の専門家、出版社勤務兼居酒屋の店

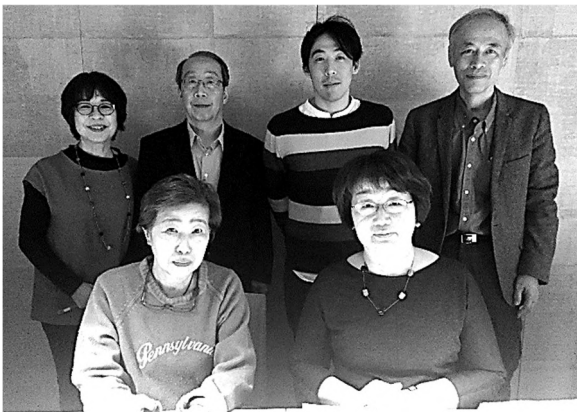
主、FM局のアナウンサー、声楽家、パーカショニスト、ボルダリングの草分け…。あの狭い地域から、これだけ多岐にわたる人材が輩出されたかと驚く。そして、何者でもない私もその素晴らしい方々と同じ高校に通っていたという誇らしさが湧いてくる。

○ いろいろな機会で見人材に出会う

対象者選びを常に意識しているわけではないが、新聞やネットを見ている時は「三河」「豊橋」「時習館」という文字が太字で書かれているかのように目に飛び込んで来る時がある。

そんな例を2つ。ひとつは新聞記事「電気ポットで離れた地域に住む老親の安否を確認するシステムを電気中央研究所が開発」。自分にとっても切実なテーマだと読んでいるとその開発者の名前に見覚えがあった。部活の1年後輩の中野幸夫氏(時27)ではないか。さっそく先輩面して名簿の住所宛に手紙を書き、登場していただくことができた。中野氏にはもちろん、部活をしていた当時の自分にも感謝したものである。

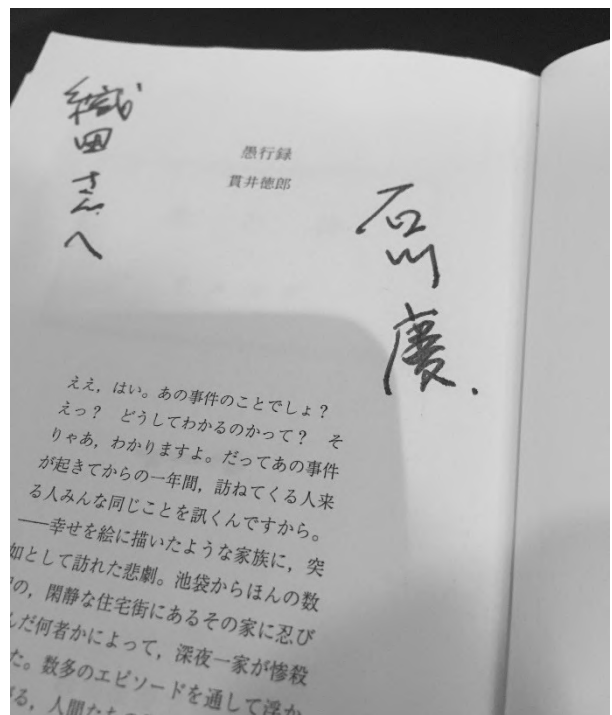
もうひとつの例は最近活躍めざましい映画監督の石川慶氏(時48)。facebookで中目黒のミシュラン店「天雅」について触れている友だちがいた。そこから「天雅」の店主のブログにたどり着くと、店主と女将はともに豊橋出身、女将の中学時代の同級生の映画監督が食事に来たと書いてあった。



石川氏のインタビューに集まった6人
(於：日比谷のレストラン)

映画監督?!時習館出身かも?名簿を繰ると名前は載っている!ミシュラン店とは知らず「天雅」に予約の電話を入れ、シドモドしながら石川慶氏にコンタクトしたい旨を女将に話し、予約日に友だちを誘って訪れた。

「天雅」は味も接客も素晴らしく、高級店ながら同郷の気やすさもあって寛いで過ごすことができた。女将は既に石川氏に連絡をとってくれていて、メールアドレスを渡してくれた。2017年3月、インタビューの日は初担当の中島委員他数名で日比谷のレストランで石川氏を迎えた。



石川氏から頂いた台本とサイン

ちょうど氏の初長編映画『愚行録』が公開されたばかりでお忙しかったと思う。エンタメ性と作家性を兼ね備えた作品の印象そのままの、気さくで知的な方だった。石川氏は時習館卒業後、東北大学物理学科を卒業され、国立ポーランド大学で映画作りを学ばれた方。なぜポーランドへ?物理学科卒で映画監督?そんな不躰な質問にも丁寧に答えていただいた。その後数々の賞も受けられ、『蜜蜂と遠雷』に続き、昨年末に封切られた『ある男』も絶賛されている。同窓生だからではなく、1人のファンとして氏の今後の作品がとても楽しみである。

○ 時習館クレージーになった私

～人生後半はじめまして～

かような飛び込み営業のように対象者にコンタクトをとったりするのは、素晴らしい人が同窓生に

クレージーがハッと思ったことがあった。『かんさい』に何を書こうかと考えていた昨年の暮れ、日経新聞の岸本葉子氏のエッセイ「人生後半はじめまして」に目が止まった。



岸本葉子氏のエッセイ「人生後半はじめまして」が掲載されている日経新聞

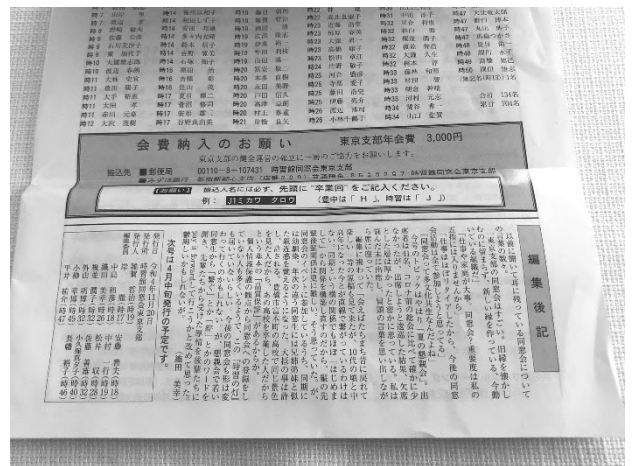
インタビューする時、現在のひととなりとは高校時代から一貫して形成されたというテンプレートに当て嵌めがちだったこと、また私たちも気付かぬうちにインタビューした方に影響を与えていた

○ 編集委員としての思い

～若手後継者の出現を願う～

同じ者が編集委員を長きに渡って務めていると誌面のマンネリ化や次世代の担い手が育たないという弊害も多いと思う。

また以前、編集後記は男性のみが担当し、女性委員は依頼されることはなく、時習館はまだまだ男性主導の文化が生きているのだと思ったりしたことがある。



『時習の灯』の編集後記

次の世代からは『灯』は紙でなくデジタルでとの要望があったり、個人情報保護から同窓会に住所などを登録するのをためらうという声も聞く。編集委員の担い手も現役世代はまだまだ時間的余裕がなく、後継してくれる人が育って来ていない。

特別投稿



時習24回生50周年イベントの実施

～（コロナ禍に負けず）～



名古屋支部幹事長 松原 秀式（時習24）



○2年前から準備をスタート

時習館伝統の卒業25周年（1972年）からのイベントを契機に、以降5年刻みに24回生として節目の学年全体の同窓会イベントを開催してきた。

30周年は箱根、35周年は西浦温泉、40周年は東京帝国ホテル、45周年は豊橋のホテルでと、それぞれ100～150人規模のビッグイベントとして学年の横の絆を繋いできた。

50周年は2022年5月の本部総会で25周年年次（時49）との共同懇親会に合わせ、その前日の夕方に豊橋で前夜祭として学年イベント開催を企画することにした。

当番となる総会は2022年開催なので、少々気が早かったが、その2年前2020年4月に有志で企画準備会を立ち上げた。

○活動の基本方針は3つ

2020年7月には各クラス代表らを含め17名程の第1回企画会議を開催した。2年後の本番に向け活動方針などを策定して本格的な活動を開始した。

骨子となる方針、予算、行事内容等について今後の進め方の共有化を図ることにした。基本となる活動方針は次の3つ。

（1） 母校への感謝（卒業50周年の節目として）、母校への寄付金（国際交流助成金）として目標設定し募金活動を進める。

（2） 本番まで「おひまち会」を重ね、手作り感やそのプロセスも楽しみながら同級生とのお祭り気分を盛り上げる。

（3） 後輩への激励（伝統のバトン伝承）、25周年を迎える後輩（時49）とのコラボで合同イベントを。

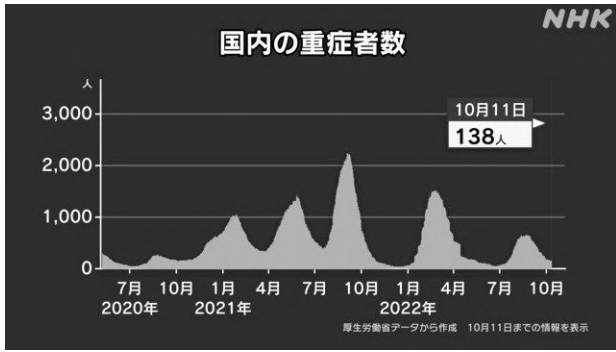
ただ、（3）は結局コロナ禍に翻弄され、総会での懇親会は実現できなかったが…。

○コロナ禍で翻弄され

しかし、最後の節目の学年イベントを最高のお祭りにと高揚する気持ちとは裏腹に、2020年3月ごろからコロナウイルスの影が忍び寄って来ていた。しかも波状攻撃が続き、収まる気配はない。結果、緊急事態宣言が何度も出されることに。

我々の記念総会の1年前の2021年5月の本部総会は中止となった。1年前の参考にと目論んでいた予定が頓挫してしまった。その後、企画検討会議や実行委員会を重ねていくも肝心の2022年5月の本部総会の開催は不透明なままで推移していくこととなった。

本部総会の前夜祭として150人規模の学年同窓会を開催すべく、会場のホテルを予約してあるもののキャンセル締め切りだけが近づいてゆく。そして2022年5月の本部総会は規模縮小の簡易版で開催され、懇親会はなしとの判断が下された。したがって予定していた24回生の前夜祭も、無念ながら先行き不明の延期とすることに。



コロナ重症患者数の推移

○苦難を乗り越えて

その後もコロナウイルスは変異を繰り返し、デルタからアルファ、オミクロンへと進化していく。コロナ第7波を迎えている2022年7月過ぎごろに実行委員による検討会の中で、何とか卒業後50年を迎えている今年中にできないかとの意見が出され、可能性にチャレンジしてみようという雰囲気になってきた。そこでコロナ第7波（2022/7～9月）と第8波（2022/12～）の間隙を見込んで11月開催を模索することに。

まず、実行委員メンバー（30名）に賛否意見を聞くと、6割が11月の実施に賛同を示した。ただ、肝心の参加者がそこそこ集まらないと企画イベントが成り立たない。連絡の取れる同期メンバー（360名）へ参加可否のアンケートを実施して、その結果で決行可否の判断をしようということに。

下限ラインは70名と踏んでいたところ、出席の回答がなんと120名に。アンケート時期が9月初めあたりであり、第7波が下降気味のタイミングも幸いしたかもしれない。

開催に際しては、食事スタイルも立食ではなく、着席形式で行うなど、会場側と協議を重ね、コロナ対策を講じるなかでの実施に努めた。

イベントの企画も、高校時代から今日まで、その時代の出来事とこれまでの学年の周年事業の歴史をまとめたスライドや、地元のプロエレキバンドの演奏で、ベンチャース、加山雄三、寺内タケシの懐かしのサウンドでお祭り気分の盛り上げを図った。おかげ様で、盛況のうちに無事、イベントを開催することができた。

24回生50周年イベント（1次会）		
日時：令和4年11月12日（土）於：ロワジュール・ホテル豊橋		
TIME	内容	備考
15:30	受付開始	
16:30	開会	
	代表幹事挨拶 集合写真	寄付金報告他
17:00	乾杯	
	食事歓談	・スライドショー（50周年記念） ・イベント（ベンチャース、加山雄三メドレー他、懐メロを地元プロバンドで）
	校歌斉聴	
18:30	中締め	2次会の案内

50周年イベント（2次会）	
日時	11月12日（土）19:00～21:00
場所	ロワジュール・ホテル豊橋内で会場を確保 *フリー・ドリンク、おつまみ各種用意
（会場A）	歌声空間 = 1F一次会会場を模様替え ◆デモンストレーション（同級生バンド他）
（会場B）	談話室 = ホテル内で別室を確保
*両部屋の行き来は自由	

50周年イベント進行表

○50周年イベントを終えて

伝統の25周年行事に始まり、あっという間に25年が過ぎた感がある。まさに光陰矢の如し。50周年イベントは結果として、コロナ禍の間隙をついた絶妙なタイミングで開催にこぎつけた。

この伝統の文化は、在学中では知り得なかった多くの同級生との新たな絆が生まれ、人生に味わいのある花を添えてくれたとの思いがする。

時習館は卒業してから味がでる母校である、ずいぶん前に、とある先輩が同窓会合の挨拶として話していたのを思い出す。50年が経過して、まさにその通りだと今実感している。

ただ、残念ながら現時点で我が学年の物故者も41名と全体の1割となっている現実も辛いものである。古希を間近に迎え、改めてこれから70代をどう生きるか、考えさせられる節目となった。



50周年受付風景

写真で語り継ぐ50周年懇親会



一次会：実行委員長による開会宣言
「皆さんのコロナにくじけない情熱に感謝」



一次会の中締め：高校応援部OB3人



二次会：アコーディオンとギターの調べ
レトロな雰囲気を醸し出す



二次会：筆者拓郎のフォークソング熱唱
50年来のファン



一次会：地元プロバンドによるベンチャーズ
メドレー



歓時習館30周年同窓会様迎



箱根で30周年懇親会の集合写真
40代終盤の若かりしころ

豊橋での50周年の集合写真。
古希間近の顔

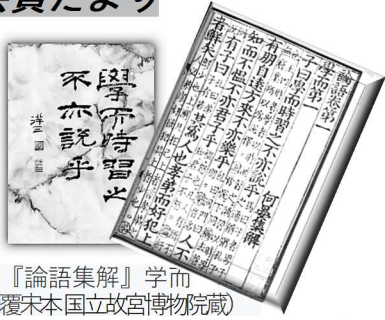
写真で見る「芙蓉の会」25年の歩み
いよいよ人生の第三コーナを曲がり、それぞれの人生の
仕上げ、25年前と比べると、それまでに経験したことが
顔に刻まれています

会員だより

復活の兆し



会員だより



『論語集解』学而
(元刊覆宋本国立故宮博物院蔵)

「時習する」って？

安岡正篤師の言葉“発見”

熊谷 信哉 (時習 18)



古本屋巡りや「さんちか古書大即売会」は昔から心躍るものがある。ふつうの書店ではほとんど見かけない本が並んでいる。店主に声をかけてから、たいていは店内を2～3回巡る。気になる本があればパラパラめくる。こんなことの繰り返しだが、ごくたまに本の方から「私に気づいて。私を連れ帰って」と“サイン”を送ってくる（ような気がする）ものがある。皆さんも同じ体験をされておられるのではないだろうか。

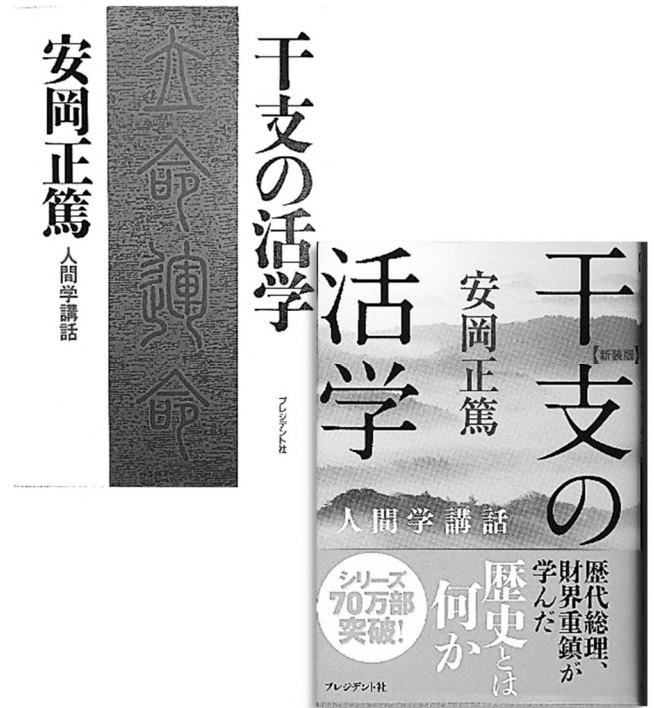
○ ある本との出会い

ある時、「時習する」という言葉を正面に据えた書籍が見つかった。何と母校の名前が動詞になっている。これは一体どういうことか？ 著者はどういう視点で「時習する」という動詞を紡ぎ出したのか。ここでは、その本の話をしてみたい。著者名の「安岡正篤^{まさひろ}」に強烈に惹かれた。



安岡正篤先生の在りし日の雄姿
(卿学研究所：安岡正篤記念館蔵より)

若い時から陽明学者として広く知られ、東洋思想の研究と人材の育成を手がけた方だ。大所高所から明確な方向を指し示す先覚的指導者として師を仰ぐ、または親交があった日本のリーダーも多いはずだ。



本のタイトルは『干支の活学』安岡正篤 人間学講話 プレジデント社 1989年発行＝写真左。(以下、この原稿では「本書」と記述)。なお、刊行されたこの初版本を装版化し2015年8月に再発刊している＝写真右。

○ 奥深い干支の世界

筆者は「毎年、年の暮れになると『来年の干支について、本当の意味があったら教えて欲しい』と言われることが多く、よくお話する」と前置き。「干支というものはけっして占いではない。したがって易の俗語でもない。干支は暦の学問。暦学の活用的一分野であり、歴史的、

経験的、実証的な意義が深い。近代西洋の暦学・天文学でも大いに干支を重要視しているが、東洋ではそういう専門的な知識・技術の問題と同時に、深い哲学さえ持っている」として干支の世界に立ち入って行く。(本書 11 頁～12 頁)

具体的な内容は各年の干支の意義を詳述する格好で構成されている。例えば

- ・昭和 39 年(1964)甲辰
いついかなる場合にも喜びの心を
- ・昭和 40 年(1965)乙巳
因循姑息にケリをつけて勇敢に進む年
- ・昭和 42 年(1967)丁未
新旧勢力の衝突
- ・昭和 43 年(1968)戊申
内憂外患がさらに紛糾する年

といったメインタイトルがつき、史実の面からも世界の流れを分析している。現在から振り返って、こうした切り口が的を射ているかどうか。本を母校の図書館に寄贈したので興味のある方は実際、手にとって読んでみていただきたい。

○ あらゆる機会を活用した

活きた学問をするのが「時習」

さて、お待ちかねの「時習する」が出てくるのは昭和 50 年(1975)乙卯(いつぼう、きのと・う)の項である。「時習する」を安岡正篤先生はどう捉えているのだろうか。

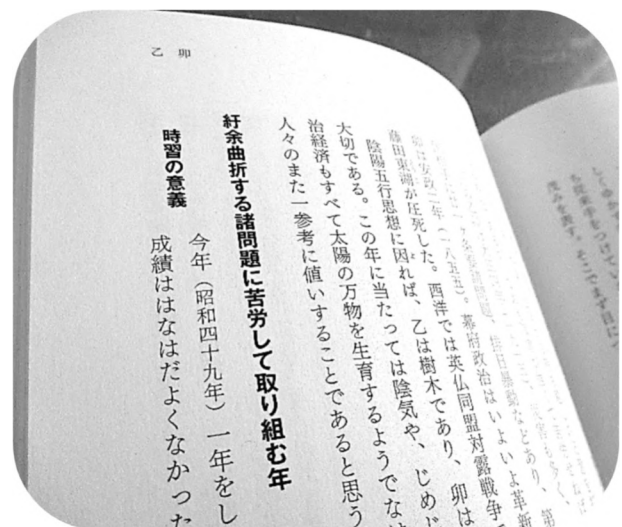
彼は戦後、国民各層の啓発・教化を目的とした(先哲)講座を設けたが、これは「単なる抽象的、論理的知識・学問ではなく絶えず時局の問題をも思索し、また忌憚なく論評する」「活学」を目的としていた。この講座の柱とした「時習」精神が現代のように多事多難な時代には特に必要、と強調している。

「時習」について安岡先生は面白いエピソードを披露される。私たち時習関係者も一度は思った(または口にした)ことなので、その個所を読むと思わずニヤリとしてしまう。

(※) 末尾に関連記述あり

○ 時習の意義

「時習」について世間にはとんでもない間違った解釈をしておる人が多数であります。この間もある会合で、相当な教育家であります、この「論語」学而篇の「学而時習之。一学んで之を時習す(学んだ時に之を習う)」の一節を引いて、「我々はとかく日常生活が忙しくて、勉強が怠りがちであるが、やはりときどき思い出して勉強しないといけない」と話しておりましたが、時習とはそういう意味ではない。「時」は Sometimes<時々>とか<時に触れて>、という意味ではなくて、その時、その機を失わずに、あらゆる経験を活用して学ぶのである。したがって時習を強いて読めば「これ(時)習う」とでも読むべきであります。しかしそれよりも「じしゅう」と音読する方が間違いがない。それから「習」という字、これがまた活きた文字です。上の羽ははね、下の白はしろではなくて、鳥の胴体を表す。雛鳥が成長して、巣離れをするころになると、ぼつぼつ親鳥の真似をして翔ぶようになる。それが習という文字。つまり体験する、身体で勉強する、活きた学問をすることが「習」にほかならない。したがって我々の日常生活、生活体験というものは、ことごとくこれ勉強の場であり、時である。人間はあらゆる機会・あらゆる場をいい加減にしないで、これを身体で勉強し、活用してゆかなければならぬ、これが時習ということの意味であります。



○ 国民的時習の大きな一例

そういうふうに考えてくると、世の中に起こるいろいろの問題はことごとく時習である。例えば、最近政界に大変動が起こって、問題の田中内閣が倒れ、新しく三木内閣が出現しました。これなども、国民的時習の大きな一例であります。その意味においてこの年の暮れも、文字どおり活きた学問、時習をさせてくれました。私どもはこの政変を、単に政界のこと、政治家のこととせず、自分自身の貴重な活学の材料として、大いに時習しなければなりません。

(本書 177 頁～178 頁)

○ 学校を出てからが本当の勉強

こういうふうに難局になってまいりますと、やはり大事なことは時習・活学であります。しかし、これは平生において心掛けておらぬと、どうにもなりません。先賢に学んで修養しないと、独りよがりになって、正しい判断・行動ができない。ただ頭がよいとか、器用だとか、いうだけでは何の力にもなりません。ところが、これは国民共通の弱点の一つと言ってよいのでありますが、どうも日本人は学問・教養と世の中の実践活動とを分けて考えるくせがある。勉強は学校でやるもので、出たらそれで勉強は終わった、後は世の中に立って実践だ、とこういうまことに安易・浅薄な考えであります。

そもそも学校を卒業するという言葉が間違っておる。卒は終わるだから、勉強もそれで終わったと思う。だから日本の若者どもは、学校における間はなんとか勉強する。試験があるから本ぐらい読む。けれども一度学校を出てしまうと、もうそれっきりで、「つとめしふる」という勉強はしない。これは大間違いでありまして、本当は学校を出てからが勉強なのであります。学校の勉強などというものは、先生の言うことを聞いて、教科書に書いてあることを覚えておって、五十点以上とれば卒業できるのですから、簡単なものであります。(中略)

その点感心なのは外国です。例えばアメリカ

の大学あたりは、卒業を commence コメンスと言うておる。これは<始める>という意味です。日本は学校を出てしまうと終わるのだが、向こうはこれから始めるというのです。この方がはるかに当たっておる、意義が深い。とにかく日本人は学校を出たらそれっきりで、コメンスしない。世俗のことは覚えるけれども、貴い時習をやらない。だから学校を出てしばらくすると、たいてい馬鹿になり、ずるっこくなって、人間がだめになってしまう。ことに名士と言われるような人にそういう人が多い(中略)。これは本当の意味の勉強をしないからであります。我々はいつまでも、これから始めるのだ、学校を出た時が始めなのだ、という心構えを持って時習してゆかねばなりません。

○ 「ようし！ これから始めるのだ」

イギリスの近世に大きな感化を与えた人に、ニューマンという名高い枢機卿がおります。この人が常に「人は終わりに近づくことを憂うななかれ、いまだかつて始めらしい始めを持たざりしことを反省せよ」と力説されておりますが年をとってみると、なおしみじみとわかる。人間はやはり、終わりに近づいたことを考えたり、憂えたりするよりも「俺はいったい今まで何をしたか、ようし！これから始めるのだ」という覚悟を持たなければいけません。(本書 180 頁～182 頁)

★★★

安岡先生の文章を読んだ感想を時習館関係者3人に寄せてもらった。

関西支部の前事務局長で母校関係でも幅広い人脈を持つ伊藤忠男さんは

「本書を読みながら、私が時習館を受験する前、叔父に連れられ筆者のお父様(当時の熊谷三郎校長先生)宅にお邪魔したことを思い出しています。熊谷先生から『時習館は自分で考える力を養うとこだ』と言われ感動し、豊橋東高

校（体操クラブに憧れ）に行く予定を時習館に変更しました。

人生すべてが学びの時であり、学びの場所。いままで、私はその機会をどれほど多く失ってきたのか、思い知らされています。学校を出て社会人になり、多くの新しいことを学びました。でも、自ら進んでではなく、仕事上やむをえない場合が多く、偏狭な世界。「時習する」とは程遠い気がしています。

あの奮い立つような気持ちを再び蘇らせ、明日に向け駆り立ててくれた本書に感謝です」

『時習館かんさい』第35号で自らの「三河人」を多方面から考察した東京支部所属の前田充康さんは

「安岡正篤先生の説かれる時習は、誠に、格調高く、正鵠を射たお話で、ただただ、謹聴するところでもあります。それに加えて、わが母校時習館には、『自習』すなわち、『自ら考え、自ら成す』との言葉が私たちの脳裏にしっかりと刻み込まれています。『自ら』進むには、勇気が要ります。人生の大事な場面で、逡巡したり、迷ったりすることも多くありますが、いつも、強く背中を押してくれるのは、わが母校の『自習』スピリッツです。これからも、気持ちの上で、生涯現役を目指して、わが母校時習館の名前を口ずさんでいこうと張り切っています」

母校の歴史に興味を持ち、さまざまな資料を掘り起こし続けている母校の須藤絢美(あやみ)先生は

「『時習する』って何？とときめいたのが第一印象です。そして、突き刺さりました。昨今の生徒は、自分にとって必要、不要を安易に選択してしまう傾向にあるからです。でも、それは教員にそういう姿勢が出ているからでしょうね。入試に必要な、不要といった思考です。時習生は本来、この『時習する』マインドを持って卒業するはずです。となると、生徒へ『時習する』場をどう設定するか。つまり、教員は『時習する』を『時習する』ことですね」

(※)「時習する」を乙卯の年の中心軸に据えているが、昭和50年(1975)乙卯のひと回り前の乙卯の年は大正4年(1915)。災害も多く、有名な大浦内相による選挙干渉問題が起こって、そのために大隈内閣の再編成があった。対外的には中国の袁世凱総統相手に二十一カ条要求問題、排日暴動などがあり、第一次世界大戦の最中だった。

そのもうひと回り前の乙卯は安政2年(1855)で、内外情勢はいよいよ非常事態の様相を呈し、秋には江戸に大地震があって、有名な藤田東湖が圧死している。(本書188頁)

○ 次の「当たり年」は西暦2035年

望まれる準備

逆に昭和50年(1975)乙卯のひと回り先の乙卯は「西暦2035年」。この『時習館かんさい』第37号が発行される2023年から見ればわずか12年後である。



写真は母校内に掲示されている「時習」の扁額。三河吉田藩藩校が出来たのは宝暦2年(1752)。同藩の上級家臣だった北原忠兵衛忠光が藩校名を揮毫した(製作年代は調査中)。本物は昭和20年6月の豊橋空襲で焼失、その後、レプリカを製作した。

「いかなることが起ころうとも、またいかなる紆余曲折があろうとも、その難関を突破して、今まで手をつけることの出来なかった困難問題に取り組んで、着々解決の歩を進めてゆく覚悟

だけは、みなそれぞれの分に応じて持たなければならない」（本書 188 頁）。世界的に見ても大きな混迷・混乱の続く多難な現代。今後も不断の「時習する」が必要—と説いておられるようだ。

こうして読んでくると母校の名に「時習」の文字が入っていることは実に意義深いことでは

ないだろうか。それこそ、時習館関係者である私たちは折に触れてこのことを思い起こし、この文字を心の糧として世間の荒波をかいくぐっていく必要があると思う。同時に我が母校としては次の「当たり年」に向け「時習する」を意識したさまざまな準備に入っていく必要があるような気がしてきた。

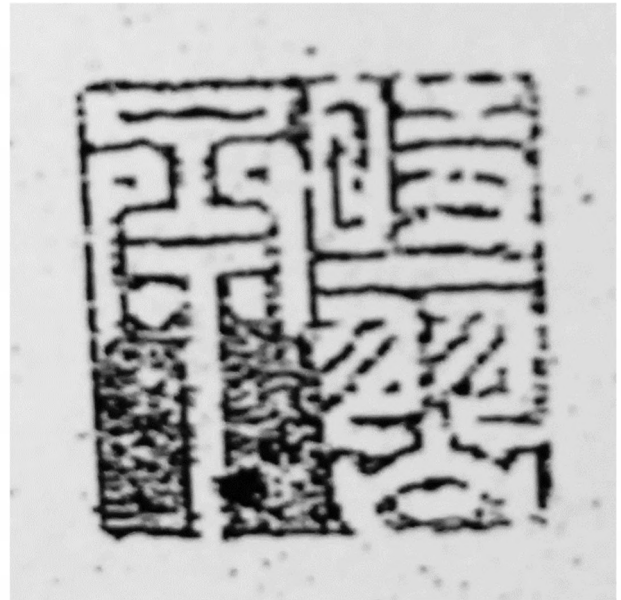
時習こぼれ話 「時習閑」

藩校の名前が「時習館」だったのは、わが母校の前身・吉田藩校と熊本だということはいく知られているが、今回は熊本の方で面白いエピソードが見つかったのでご紹介しよう。

2022年11月19日（土）に兵庫県立考古博物館で播磨町町制施行60周年を記念する講演会が開かれた。この時、日本の新聞の父と言われる同町出身のジョセフ・ヒコについて新聞資料研究会会長の羽島知之さんが慶応元年（1865）発行の『新聞誌』発見の経緯に触れられた。以下、講演資料をそのまま紹介する。



今回入手した『新聞誌』第1号～2号と『海外新聞』第6号には、いずれも表紙に「時習閑」の赤い蔵書印＝写真＝が押されている。宝暦4年（1754）に、藩主細川重賢が熊本に設立した藩校が「時習館」であったこともあり、肥後藩政府か定期購読者の一人が読み終わった『新聞誌』を、ここに寄贈したものが保存されていた可能性が強い。「時習閑」の「閑」の字は『広辞苑』によると、「静かなさま。静かでいとまのあること。ひま。」などの語意があげられているので、この「時習閑」は、あるいは時習館の図書室のようなところだったのかも知れない。



会員だより



丹波篠山を生活の拠点に

～「心地よい暮らし」を求めて～



垣内 亜佐子（時習 32）

○「都会に近い田舎」丹波篠山

皆さまは、「丹波篠山市」ってご存じでしょうか？「黒豆」「丹波栗」「猪肉」などがTVで紹介されて知名度が上がっていますが、兵庫県の東端、京都府とも大阪府とも隣接した「都会に近い田舎」です。



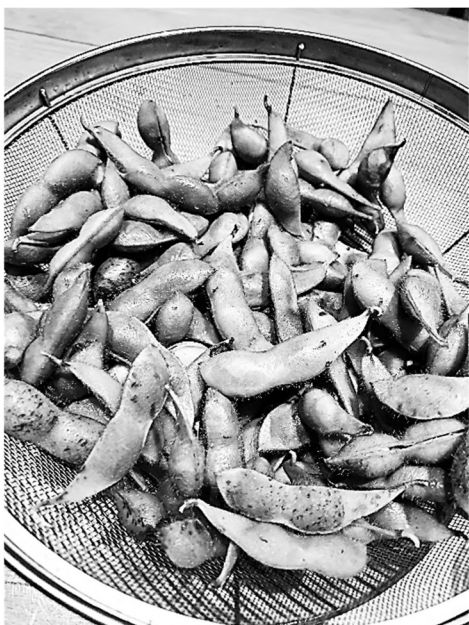
2022年1月、私は約9年間の大阪での単身赴任生活から、夫の実家の「丹波篠山」に生活の拠点を移しました。



義母の姪と義母と私（筆者）

○コロナが「当たり前」を見直すきっかけに

きっかけは、コロナの蔓延により仕事がほぼ毎日リモートとなったため、大阪にいる意味がなくなったからです。結婚してから3人の子どもが小さい間は、実家から大阪まで片道65kmの道のりを、夫といっしょに毎日車で通勤していましたが、子どもも成人し、自身の体力や時間のことを考え、2013年から単身赴任を始めました。私の仕事は、主要取引先のほとんどが東京の企業で、月の半分以上は東京出張だったため、大阪に住むことで移動の便利さが格段に違うのです。その分、土日の休みはといえば、丹波篠山への里帰りや故郷の豊橋の母のケア…という目まぐるしい日常でした。毎日リモートで仕事ができている今では、「異常な日々だった」と振り返ります。でも、その時は「出



黒豆畑（上）と茹でたての黒枝豆
十月には毎日食卓に

張して打ち合わせをするのが当たり前」…と思っ
込んでいました。

その「思い込み」を変えてくれたのは、コロナ
の蔓延でした。マスクや消毒が当たり前になり、
企業も学校も個人も、さまざまな行事や外出等が
極端に制限され、世界・社会全体の価値観が大き
く変わりました。そして、誰もが「当たり前」は
いつまでも続かないことに気づかされ、「当たり前」
すぎて見直してこなかった「当たり前」を、改め
て考え直さざるを得ない状況になりました。私に
とっても、それは同じでした。今まで望んでも無
理だと半ば諦めていた「想定外の余裕時間」がで
きたことは、26歳で起業してから立ち止まること
なく走り続けてきた自分を振り返り、これからの
人生で何を大切に生きるべきか、を改めて考える
重要な機会となったのです。

○還暦を迎えての決心

一昨年還暦を迎えましたが、50代後半くらいか
らは、同級生が集まると「入院した」とか「手術
した」という健康・病気の話が必ず話題に出てく
るようになりました。若いころから病院にはあま
り縁がなく健康に過ごしてきた私も、還暦をきつ
かけに、限られた人生なら心も体も無理をしない
で「自分が心地いい」と思う暮らしをしよう！と
思うようになりました。そのために、「これから一
生この家で心地よく暮らす」ための一大決心？と
して、築25年になる自宅の大改装をすることに
しました。部屋の壁紙を張り替えると、見違える
ように部屋が明るくなり、それだけでも心がウキ
ウキします。さらに、洗面、トイレ、キッチンな
ども計画的に自分の使い勝手のよい環境をめざし
ました。



近くの河原で息子夫婦と

実家は山と田畑に囲まれた日本の原風景のよう
な田舎です。初春は梅が満開ですし、初夏には美
しい新緑、秋には山々の紅葉が窓から見え、窓を
開ければ、どこからも風を感じることができます。
6月には近くの川に蛍が舞い、夏には蛙やセミの
大合唱、赤とんぼが秋の気配を伝えます。日本の
四季の豊かさを日々感じる事ができる、お金で
は買えない贅沢な自然環境に恵まれていますので、
そこに改装による「暮らしやすさ」が加わり、今
は大満足！です。



冬の風景
玄関の花瓶の水が凍ります

○私のためにある「時間」

また、丹波篠山に戻ってから「時間」に対する
考え方を意識的に変えました。リモートになった
とはいえ、相変わらず仕事は忙しいのですが、例
えば、食事。「死ぬまでにあと何食、食べられるか
わからないなら、自分が本当においしいと思うも
のを大切に選んで食べたいよね」と同級生ともよく
話しますが、お茶漬けやラーメンだとしても、
一工夫、手を加えて「自分にとって美味しく」食
べる。また、毎日の入浴。好きなアロマの香りの
入浴剤を入れて、ゆっくりお湯につかって心身と
もにリラックスする時間にする。——以前は、「家
事は要領よく片付けたい」「お風呂はシャワーでさ
っと済ませばいい」…など、「暮らし自体を楽しむ」
余裕がなかったのだと実感します。でも、「心地い
い暮らしを楽しもう」と考え始めると、5分や10
分急いだって人生に影響なし！と思えるようにな
りました。

また、IT 機器やサービスを使うことで、家事も楽しめます。私は老眼で大好きだった読書がしにくくなったのをきっかけに、「audible」というサービスで本の朗読を聴くようになりました。携帯電話にアプリをダウンロードし、小説やミステリー、啓発本など、さまざまな本を選んで聴くことができます。掃除や食事の片付け、車や電車の移動中、ウォーキング中…小説やミステリーを聞いていれば、あっという間に時間が過ぎます。Blue Tooth でワイアレスにしていますので、移動しながらでも気軽に聴けて、1 か月に数冊は聴く（読む）ことができます。これは新たな楽しみになりました。集中して想像力を働かせながら聴くことは、ボケ防止にもいいそうですよ、皆さんにもお勧めです。

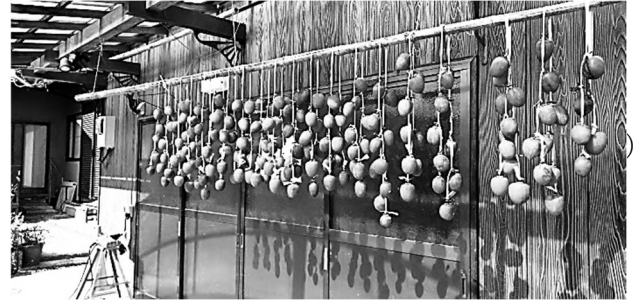
○新たなライフワークも見つける

今後、ライフワークとしてやりたいことは、丹波篠山での田舎暮らしの魅力を、都会に住む子どもたちに伝える活動です。実家は兼業農家で、米や黒豆を出荷しており、自家栽培用の野菜畑も持っています。3 人の子どもたちは、畑で新鮮なとれたて野菜を食べて育ちましたが、私は嫁いできて初めて、とれたての野菜とスーパーの野菜がこんなに違うのか、と驚き、感動しました。



とれたてのトマトはピカピカです

野外活動にさえ携帯ゲーム機をもっていくのが当たり前のような子どもたち、コンビニで何でも揃うのが当たり前の子供たちに、田舎の「不便な暮らし」や「農作物を育てる」体験を通して、自然の大切さや面白さを伝えたいのです。



今年の我が家で：干し柿 200 個

昨年、思いを同じくする団体の若手スタッフと次男といっしょに、「親子食育クラブ」という名称で、我が家の黒豆畑や野菜畑で農業体験や食体験、自然での遊びを楽しむイベントを始めました。年 5 回シリーズで、4 組 16 名の親子が参加してくれました。小学校 2～4 年の男の子ばかり 7 人でしたが、農体験はもちろん、虫や蛙を捕まえたり、川で遊んだり、火を熾しての料理など、みんな夢中で取り組みました。また、干し柿づくりや、もちつき、石うすで「きなこ」づくり、蕪でしめ縄づくりなど、親子一緒に目をきらきらさせて楽しむ姿を見て、とてもうれしくなりました。

来年の企画も進めており、昨年のお申し込みが来ています。ビジネスではないので、できるだけ長くライフワークとして続けられる内容と規模を考えながら、このような体験の価値が広がっていくといいな、と思っています。



お盆のお供え
家でとれた新鮮な野菜たち

会員だより

赤ちゃんの湿疹（アトピー性皮膚炎）と食物アレルギーの関係



高岡 有理（時習 44）

○大阪はびきの医療センターの紹介

私は大阪府羽曳野市にある大阪はびきの医療センターに小児科医として勤務し、アレルギーを中心に診療を行っています。



2023年5月に新病院に移転予定

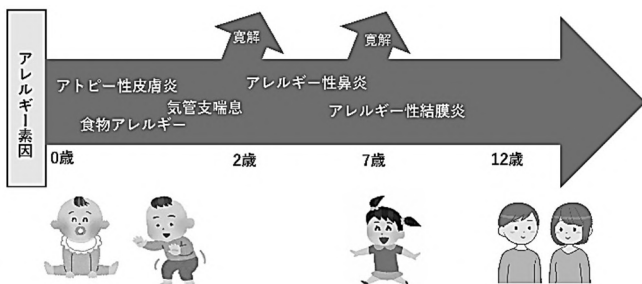


医療センターの外観と位置図

（大阪はびきの医療センターホームページより）

大阪はびきの医療センターから見える丘にはブドウ畑が広がり、世界遺産に登録されたなかもず・古市古墳群が点在しています。今回は赤ちゃんの湿疹（アトピー性皮膚炎）と食物アレルギーの関係についての話題を提供いたします。

○アレルギーマーチ



アレルギーマーチ図

アレルギー疾患にはそれぞれの年齢でかかりやすい疾患が異なります。例えば乳児期はアトピー

性皮膚炎が多く、日本人の赤ちゃんはおよそ10人に1人程度がかかるといわれています。その後、食物アレルギーになる赤ちゃんもいます。さらに成長してからは気管支喘息やアレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎などにかかりやすいです。一方で乳児期のアトピー性皮膚炎は年齢が進むにつれて次第によくなることも多いです。このように、アレルギー体質があると成長に伴ってアレルギー疾患が自然によくなるものもあれば、新たな別のアレルギー疾患になることがあります。これをアレルギーマーチと呼んでいます。

○赤ちゃんの皮膚をよくしておくことと食物アレルギーの関係

最近ではアレルギーマーチの始まりである乳児のアトピー性皮膚炎を早く見つけて適切に治療することで、食物アレルギーを予防できるかもしれないといわれるようになりました。

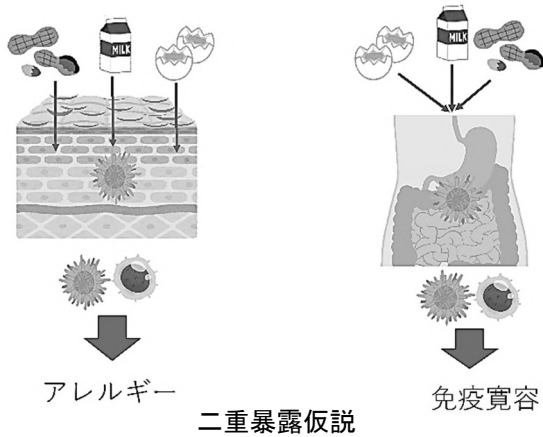
健全な皮膚にはバリア機能といって、外部から有害物質や刺激が体内に侵入することを防ぐ働きや皮膚から水分などが失われないようにする働きが備わっています。

アトピー性皮膚炎では皮膚のバリア機能が低下しているために、外からの刺激を受けやすく水分も失われやすくなっています。また、アトピー性皮膚炎の皮膚では免疫細胞が暴れて炎症が起きているため、皮膚が赤くなり腫れて痒みもあります。このようにバリア機能の低下したアトピー性皮膚炎の皮膚からは生活空間の塵の中にある微量な食物が侵入しやすいです。

二重暴露仮説では、食物が皮膚を通して身体に入ってくるのは良いことではなく、免疫細胞が異物だと認識してアレルギーになりやすくなるといわれています。

一方食物を口から食べた場合は、腸には免疫寛容といって食物という異物を栄養として取り込む

機能が備わっているため、アレルギー反応がおきにくいといわれています。



赤ちゃんの顔に湿疹がみられたら早めに病院に行って外用薬で治して、皮膚の炎症をなくしてバリア機能を回復させておきましょう。とくに赤ちゃんの湿疹が強いとき、例えば顔から始まって次第に体まで湿疹がでてきたとき、顔全体に湿疹が広がってじくじくとした浸出液がでたようなときは要注意です。そのようなとき赤ちゃんは痒くて大人の服に皮膚をこすりつけたり、手で顔を引っかいたりするようなこともあります。

なおステロイド外用薬の使用に対して何となく心配に思われる方がいるかもしれませんが、ステロイド外用薬は標準治療として使い方も確立されているため不安はありません。大切なのは正しい使い方をすることです。病院で湿疹の強さにあったステロイド外用薬を処方してもらい、自宅でどのように塗ったらよいか、塗る場所と塗る量、そしていつまで塗るかを教えてもらうようにします。

○アレルギー予防の点からいつから離乳食を食べたらよいか

一方口から食べたほうが食物アレルギーになりやすいと言われても、赤ちゃんは生後すぐには食べることはできません。そこで離乳食を極端に早くする必要はありませんが、遅らせない方がよいといわれています。授乳・離乳の支援ガイド(2019年改訂版)では、離乳食の進み具合は個人差があるのでお子さんの成長に合わせてつつも、目安として離乳食の開始は5・6か月からとし、鶏卵は7・8か月から卵黄1個から全卵 1/3 まで、9・11 か月で全卵 1/2 個、12・18 か月で 1/2～2/3 個と示されています。

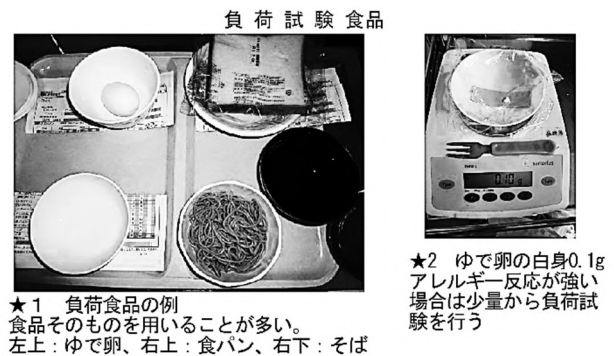
なおお粉ミルク(育児用調整粉乳)は離乳食ではありませんが、牛乳アレルギーの予防の点からは、

生後1か月から6か月までは母乳だけで十分成長できているお子さんでも、少量(小匙2杯、10ml以上)の粉ミルクを定期的に飲んでいたほうが、牛乳アレルギー予防効果があったといわれています。なお母乳の素晴らしい点はたくさんあるので、母乳をやめて粉ミルクにしたほうが良いと言っているわけではありませんので注意をしてください。

○食物アレルギーかもしれないときは専門病院で経口負荷試験

乳児期に湿疹やアトピー性皮膚炎があると、アレルギーを調べる採血を行うことが多いです。保険適応のアレルギーを調べる採血では、血液中の当該食物による特異的IgE抗体の値を測定します。なおアレルギーでは血液中にIgE抗体があっても実際には症状の出ないこともあります。これを感作といいます。その後さらに症状を起こすようになると発症といいます。

赤ちゃんでは免疫反応も未熟なので、卵白、牛乳、小麦など食べ物の特異的IgE抗体価が検出されても、感作のみで発症していないこともあります。もしまだ鶏卵などの食物を食べていないのに採血でIgE抗体が陽性だった場合は、経口負荷試験といって専門病院で実際に食べて大丈夫かを確かめる検査を受けることができます。



★1 負荷食品の例
食品そのものを用いることが多い。
左上：ゆで卵、右上：食パン、右下：そば

★2 ゆで卵の白身0.1g
アレルギー反応が強い場合は少量から負荷試験を行う

食物経口負荷試験で主に検査する食品

当センター小児科ではこの検査を1年で1000件以上行っています。

○おわりに

アレルギーの診療はここ20年で大きく変化しています。これからも次第に変わっていくと考えます。その時々最新の情報をもとに赤ちゃんの成長に合わせた適切な対応ができると良いと思います。

会員だより



私の趣味について

大久保 孝 (時習 41)



2020年に勤務先の人事異動で、大阪に転勤となったことが縁で、時習館同窓会 関西支部に入会しました。今回は、「時習館かんさい」に出稿する機会を頂き、大変ありがとうございます。1993年に大学卒業後、現在の勤務先に入社し、以来約30年経ちますが、振り返ると殆どの時間を、仕事に関することで占められているのが実情です。

その中で、約6年前2017年5月のゴールデンウィーク明けから、健康を考えて取り組み始めた、趣味のジョギングについて、紹介したいと思います。

○健康のためジョギングを始める

まず、ジョギングをテーマに選んだ理由としては、健康を気遣う多くの方にとって、参考になるのではと考えたためです。今でこそ、毎年受けている人間ドックの結果は、視力以外はほぼ「A」と、良好な状態を維持していますが、ジョギングを始める前は、BMIは約29、腹囲97cmの完全メタボ体形で、人間ドックの結果も脂質検査等いくつかの検査項目で「C」（経過観察）が付く等、芳しくない状態でした。

また、普段の生活も、肩や腰のコリが酷かった他、睡眠時無呼吸症候群になったり、体中がかゆくなったり、階段を上がるだけで、息が切れたり、といった状況でした。そんな状態からジョギングを習慣化することで、比較的短期間に、目に見えて効果が出たことから、最初の切掛を含め、ジョギングを約6年も続けている魅力を、実体験を基に、紹介したいと思います。

○ジョギングの魅力：実体験から

2017年5月にジョギングを始めたのは、青森県青森市内で仕事をしていた時です。家族

は妻の実家のある、福井県に購入したマイホームに住んでおり、私は単身赴任中でした。青森には2014年8月に転勤で赴任したため、青森で単身生活を始め、約2年半を経過した頃です。

青森市は降雪量の多い市で気温も低いため、11月後半から4月中旬まで積雪があり、歩道はホワイトアイスバン状態が続きます。滑らない様、歩くのも大変なことから、1年の半分近くは、出歩くことも必要最低限となり、青森に赴任後は年間通した運動量は大きく減少しました。一方、食事は、物価安く、美味しい食材やお酒も多いため、大きく増加しました。特に気温の下がる冬季は、体を中から温めたいという欲求から、毎日飲み歩く日々が続いたことも、カロリーの過剰摂取に拍車をかけました。その結果、体重はどんどん増え続け、2017年の春を迎えた頃には、74kg超と自己記録を大きく更新し、過去にないレベルになっていました。

さすがに、今の状態が続くと、命にかかわるのではと心配になったことが切掛で、2017年のゴールデンウィーク明けから、まずは週末1日15～20分程、住んでいた社宅周辺の青森港を、軽く走ったり、歩いたりということから、運動を始めたということです。

週末土日の2日間、其々15～20分の軽いジョギングからスタートしましたが、体重を支える体の強度が足りず、1カ月も経つと膝の痛みが出始めました(ジョギングで着地をする時、体重の約3倍の衝撃が膝にかかると言われていいます。今後、ジョギングを始められる方がいれば、最初の1カ月は無理をせず軽めに抑える様子を付けてもらおうと良いのではと思います)。

その後、痛みのある時は休みつつ、ジョギングを続けていた所、3カ月程経過した頃、膝が強化されると同時に、体重も2kg程落ちたことにより、1日30分程、週に2～3日のペースで、コンスタントに、膝が痛むことなく、走り続け

ることが出来る様になりました。また、その頃には、肩や腰のコリがなくなる等、肥満が原因と思われる様々な症状が大きく改善されたことを実感する様になりました。

○ジョギングが楽しくなった

その後、ジョギングが楽しく感じられる契機となったのが、2018年7月 スポーツウォッチとの出会いです。購入したスポーツウォッチは人工衛星と繋がっており、精度の高いGPS機能があり、実際に走った走行ルートを地図で示してくれる他、スピード・走行距離・消費カロリー等も計測してくれ、加えて、スマホに連動し、データの保存・蓄積も行ってくれる優れた時計です。

スポーツウォッチを身に着けて走ることで、自分が頑張った結果が、数字で可視化され、データ蓄積されることで、ジョギングの楽しみが大きく増大しました。例えば、日々、走る度に、スピード・距離等 自己記録更新を考える様になった他、過去のデータを振り返りつつ、今後の目標を立てることが出来る様になり、走った後の楽しみが大きく増加しました。

○マラソン大会への参加

また、マラソン大会への参加も、ジョギングを趣味とする中で、大きな楽しみとなりました。



2018年田沢湖マラソンに参加した時の写真(左)と愛用のスポーツウォッチ(上)

私は、2018年7月に青森マラソン 10 kmコースの参加を初回として、翌年 2019 年には年間 5 回 フルマラソンを完走しました。沿道の応援を受けつつ、開催地の街並みや自然を眺めながら走るのは楽しいですし、給水場でご当地グルメを味わうことも、醍醐味の一つとなります。

2020年以降はコロナ禍で、参加出来ていませんが、今年 5 月にはコロナ感染症分類が 5 類に引き下げ、再度 マラソン大会への参加を考えています。



富士山を背景に心地よい風を押し切りました



因みにフルマラソンを 5 回 完走した 2019 年末には、私の体形は、ジョギングを始めて 3 年 経っていませんが、体重は 74 kg→58 kgと約 16 kg減、腹囲は 97 cm→73 cmに、24 cm減と大きく変貌し、着ていた服のサイズも、「LL」→「S」と大きく変わりました。人間ドックの結果も、冒頭で紹介した通り、視力以外は「A」という状態に改善しました。特にお酒を控えたり、食べたいものを我慢する等、食事制限は一切していないことも、付け加えておきます。

○皆さん一緒に走りましょう

ジョギングは思い立った時に、1 人で出来、場所も自宅の周辺等、手軽に取り組めるスポーツです。スポーツウォッチの購入はお勧めですが、その他は特に道具も必要ありません。私の実体験を参考に、試しにやってみてはいかがでしょうか。関西支部の皆様が健康で元気に過ごされ、再会できることを楽しみにしています。

会員だより



毎日“ラン・ラン”生活

～気分転換・息抜きを兼ね～

小山 淳二（時習 43）



兵庫県立こども病院で小児神経外科医として勤務しています。小児神経外科として扱う疾患は頭部や脊髄の先天性疾患、外傷、脳や脊髄の腫瘍、脳や脊髄の血管に関わる病気などなど多岐にわたります。

小児医療では、疾患の治療や予防だけでなく成長・発達の為の療育や、治療に伴う晩期合併症のフォローなど成人医療とは異なる気遣いを要するところがあります。毎日、子どもたちと向かい合い、なだめたり、ご機嫌とったり、励ましたり、時には逆にこちらが励ましてもらったりと、一日があっという間に過ぎてしまいます。体力やこころの消耗が比較的多い生活です。

毎日の生活・業務を持続していくには、気分転換・息抜きが重要です。私の場合、ありきたりですが、ジョギング・ランニングが気分転換となっています。着替えとシューズがあれば出来るのでお手軽ですね。もともと放浪癖が強く、道草大好き、メインストリームは苦手な脇道があれば通りたい、曲がり角があれば曲がりたい、坂があれば登りたい質です。しかし、黙々とひたすら走っているだけでは、ただの苦行となってしまう持続しません。本稿で私が普段実践している、ランニング・ジョギング生活をご紹介します。

○通勤ラン

帰宅ラン：職場からの帰宅をランニングに置き換えているので、余分な時間がかからず効率的です。帰宅後、お風呂に入ればいいので、着替えも不要です。逆に時間の制限が無いので、道草し放

題です。普段と違うコースを選ぶも自由、初めて通る道で感じの良い呑み屋を見つけるのも楽しみです。

もちろん、しんどくなったら途中から電車に乗ることも躊躇しません。走る事が、義務・苦痛になってしまっは、元も子もありません。デメリットは荷物を背負ってのランになる事でしょうか。勤務先が神戸市の繁華街三宮の南側、人工島であるポートアイランドに存在する為、帰宅時は本土へ渡る神戸大橋を越えて行きます。海側から眺める神戸の夜景もなかなか良いですよ。



神戸市中央区ポートアイランドと本土を結ぶ神戸大橋より
(三宮～元町の夜景を楽しめます)

出勤ラン：出勤時のランは、帰宅ランと比較するとストイックです。早朝のキンと冷えた空気の中を走り出すには、前夜から少し気分を高めておく必要があります。しかし、いったん走ってしまえば身体が温まり、出勤後の始動がスムーズで、気持ち良く仕事に励めます。私の場合は三宮磯上体育館にある無料ランステーションを利用して、シャワー・着替えを済ませて出勤します。

○休日山城ラン

休日は長距離ランするにもってこいですが、ただひたすら走るの、なかなか辛いです。そこで趣味である山城巡りとランニングを組み合わせると一石二鳥。水分と捕食をバッグに詰め、トレイルランニング用のシューズを履いて出かけます。お目当ての山城の近くまでは自動車や鉄道で出かける必要があります。やはり、走った後の“ごほうビール”が楽しみですので、可能な限り鉄道を利用しています。



白旗なのに、落ちない”城として、受験生の聖地になっています。写真のような、苔むした岩の間を登っていきます。

兵庫県赤穂郡上郡町の山城 白旗城

奈良吉野比叢寺～高取城（2017/12/30）私の母方祖父は曹洞宗の僧侶でした。母の幼少期奈良県吉野の世尊寺（別名比叢寺 写真3）で暮らしていた事があったようです。



世尊寺（比叢寺）

奈良県吉野に建立された曹洞宗寺院。私の母が幼少期に過ごしたところです

開基が聖徳太子とも言われている寺院で、私が3歳のころに家族で出かけた事もあったようです。地図で見ますと世尊寺の裏山は山城マニアの間では日本三大山城の一つとして知られる高取城があります。自分のルーツ探索と高取城踏破を目指し、早朝神戸の自宅を出発し、世尊寺最寄り近鉄吉野線六田駅からジョギング開始。世尊寺で、現在の住職の方にご挨拶してから寺院を拝観。そのまま、北上して標高 589m の高取城を駆け上ると山上とは思えない、立派な石垣をたたえた主郭、曲輪群に到達（写真4）。



奈良県高取城址

山上にこれ程立派な石垣が組まれている事に驚きです

ひとしきり城郭遺構を観察してから、登上ルートとは違う北側のルートを下山し、近鉄吉野線壺阪山駅まで走りきるとお昼前。帰りに大阪ミナミで串カツ楽しんで、昼過ぎ帰宅。半日で盛り沢山楽しみました。

○出張朝ラン

泊まりの出張時も絶好のラン機会です。出張前の荷物パッキング時にはランニングシューズとウェアの準備を忘れないようにしています。予め出張先の地図を眺めておき、走るコース・目的地をある程度イメージしておきます。なにげにこのプロセスが一番楽しい時かも知れません。出張の本題準備を怠らないように注意が必要です。

奈良春日山（2022/11/13）奈良市内で1泊2日の研究会に参加。天気予報は雨でしたが、念の為

シューズとウェアは持参。夜明け前から有志3人で東大寺～若草山ラン。若草山は思いのほか標高があり、頂上まで登りがいがありました。きれいな朝日も堪能できました。ちなみに一緒に走った有志の一人（写真5右）は、時習館59回生で現在産業医科大学脳神経外科に所属している長坂昌平君です。



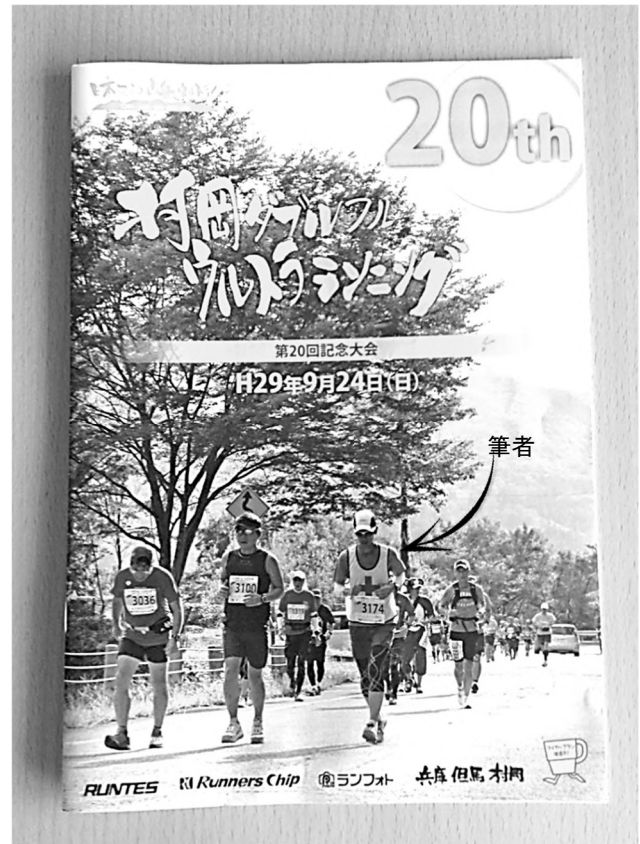
有志3人で早朝の若草山登頂（標高342m）。
右：59回生 長坂くん、真中：私（筆者）

2020～2022年に神戸で産業医として勤務した際、私の勤務先に研修で来られ知り合いました。偶然にも時習館の後輩と知り、仕事面だけでなく、自分の趣味のランニングや呑み会に無理やり引き込んで、今もお付き合いしてもらっています。また、長坂君の所属先ボス（教授）である山本淳考先生は豊橋南高校出身であり、東三河色の濃いコミュニティとなっています。一人で黙々と走るのも良いですが、たまには複数人で走ってみるのも、いろんな出会いがあって良いものです。

○レースに意欲

やはり普段走る時の一番のモチベーションは、出走予定のレースではないでしょうか。ちょっとしたアスリート気分、レースに向けてペースや距離を設定して練習したり、シューズや食事にこだわったりするのも楽しいですね。レース当日は、普段のランと異なり、自分と同程度の走力の参加者が多数走っており、刺激になります。また、飲み物や補食を提供してくれるエイドがあったり、

沿道の応援もあります。このようなサポートのおかげで、走り終わった後の気分も格別で、更にランの沼にハマっていきます。



村岡ダブルフルウルトラランニング

メディカルランナーとして参加した翌年、パンフレットの表紙を飾ってしまいました（ゼッケン3174）。殆ど歩いている感じですね（笑）

○まとめ

まとめ 私の気晴らし方法であるランニング・ジョギングについて取り留めもなく書かせて頂きました。時習館からは、鈴木亜由子さんが世界を舞台にランナーとして活躍されています。心から応援するとともに、これからも走り続ける希望と勇気を与えて頂き、感謝感謝です。



鈴木亜由子さん

皆さんも、ご近所をジョギングしてみたいかごでしょうか？普段とは違った風景や、これまで気にならなかったような物を発見できるかもしれませんよ。

会員だより [追悼文特集]



佐藤雅子書

佐藤元彦ヤマサ会長から教わったもの

～会長語録から“趣味悠遊”～



伊藤 忠男（時習 13）

年が明け、突然訃報が舞い込んだ、そこには佐藤元彦会長がお亡くなりになられたと書かれていた。2週間前にお電話でお話したばかりなのに。全く信じられず、失礼を顧みず奥様にお電話をした。奥様も突然の出来事に言葉を詰まらせておられた。

前日までロータリークラブに出席し、ご活躍されていたとのこと。その夕方少し疲れたのか「足が動かしにくい」と言い休まれた。次の朝、少し体調が良くない様子に「病院に行こう」と話していたところ、そのまま息を引き取られた。

○二人の巨匠（心の師）との別れ

今年度、私にとって2人の巨匠を失った。1人は昨年8月に漫画家牧野圭一先生、引き続き今年に入り、佐藤会長の訃報を聞く。二人とも私にとっては大先輩にあたる。そればかりか、お会いするたびごとにお聞きする一言一言には前向きな人生観からか、常に過去より未来に目を向け、力強い言葉に充ち溢れていた。歳を経てもその目の輝きを失わない。いや、歳を経れば経るほど、活力が増す。そんな生き方、私の憧れであった。尊敬するお二人、私にとっては心の師であり、今の私になくしてはならない先輩なのである。

牧野先生については、京都国際マンガミュージアムの伊藤遊先生にお願いすることにして、私は会長語録からその思い出を書き残したい。

○佐藤会長との出会い

時習館同窓会関西支部の事務局長を引き継ぎ、当時の朝日奈支部長より支部総会の運営についていろいろご教授いただいた。その中に、毎年、出

席者全員の手土産として、ヤマサちくわ（株）よりちくわが提供されるので、必ず、総会出席者の人数を連絡するようとの注意事項があった。そこで、総会の出席者人数をお知らせするため、お手紙と確認の電話をしたのが佐藤会長との最初の出会いであった。

2019年大阪総会にて
大林さんと乾杯の音頭をとる会長

若輩の私が、突然〇〇人分のちくわ例年通りお送りいただきたいとのお願い、不躰にも程があり、失礼極まりないものだった。

それにも関わらず、極めて丁寧で、丁寧な対応、行き届いた手配。また、会長自ら持参しますとのことのお言葉があった。これは生半可な気持ちでの対応は出来ない。わが身を恥じる思いに駆られた。早速身をただし、総会の計画を含め細かく説明させていただいた思い出がある。

今から思えば、心震える出会いであった。

○「その時、どちらを選択するか」

それから、数年経過した。定例の総会（奈良での総会？）が終わり、関西支部定例の観光（常に会長は観光にも参加されていた）に行くみちすがらお話しする機会を得た。世間の噂や同窓会の運営等の話に加えて、年齢を経るに従い、当然訪れる病の話題になった。私は大腸がんの手術をしたばかり、会長も以前同様の病で開腹手術したことを聞かされた。その時は80歳を過ぎておられたと思う。元気そのもの、足取りも私よりも健脚であったことから、少し驚いた。当然、その元気さ

は持って生まれた剛健な身体からですかと尋ねた。その答えは「多少は剛健な身体が寄与しているかもしれないが、主なる要因は人生における二つの道でどちらを選択するかにあるよ」とのことだった。???私が首をかしげていると、例の笑顔で「当たり前だが、人は歳をとる。病もある。その時、一層注意深くなり縮こまる人と、これを乗り越え、明日を夢見る人とに分かれる。私は後者を選んだ。それが元気を保つ秘訣かな」と付け加えられた。この言葉、今も忘れない。



奈良総会で近田良治氏（時1）と談笑する会長

○「気力は歳を超える」

その次の年だったと思う。ゴルフ談議をした。「まだまだ、車でゴルフに出かけるよ。青空に飛び立つ白球、あの爽快さは何ものにも代えがたい」。今年何回になるのだろうか。指を折り数えておられた。かなりの回数だったと思うが、今は残念ながらその数を覚えていない。その上、あと少しで85歳。85過ぎたらエージシュート年齢。それを目指すよと言われ、歳が増すのを待ち望んでいる風に見えた。

その折「希望は大きく描き、それに向け努力する。その気力が歳を超えるんだ」

私には、笑顔に隠れてはいるが、凛とした力強いまなざしを感じた。

○「人はじっとしていると錆びる」

佐藤会長と言えど多趣味であることに触れざるを得ない。中でも、ハーモニカは天下一品、プロ並みとお聞きしている。「ハーモニカはエレキの添え物だと思っていたのだが、美しく流れるような音色のソロ演奏に聞き入り、主役になり得るのだと知った。それで、自らも演奏したくなった」と

言っておられた。いったんその道に踏み込むと、それを極めることにまい進する。これが趣味の王道ではないだろうか。



ハーモニカ演奏会で演奏する会長と奥様

会長の目にはハーモニカだけではない。会長宅にお伺いした折、書棚には数えきれない切り抜きファイルがあった。新聞を読み、気になること、興味を引くことはことごとくファイルにする。それは政治、経済、魚に花など分野をいとわない。まさに好奇心の塊だったと奥様から聞いた。

会長は言う「人はじっとしていると錆びる。見てみたい、聞いてみたい、やってみたい。どこかで見聞きした時、それに揺さぶられ、すぐに行ってみたくなる…“趣味悠遊”…」。

会長はまさに80にして「好奇心が歩いている」と言われる人生を送られてきた。人は皆こうあるべきではないだろうか。

歳を超えた初々しさが伝わってきた。

私もちょうど80を超えたところ。私にとって気持ちを奮い立たせるにこの上ない言葉となった。

○「現場は宝の山」

時には仕事の話もした。練り物の材料「えそ」の不足に、遠くまで買い付けに自ら行く。また、少しでも味を落とさないで合理化するため、工場内を見回る。現場こそ、安く良いものが出来るヒントが隠れている。「現場は宝の山」、これが会長の仕事への姿勢であった。

「伊藤君は技術が専門だと聞いたが、得てして技術屋は机の上であれこれ考え、これは良い、素晴らしいと独りよがりになる。中途半端なものが出るのはこんなやり方からだよ」。

この教え、今も胸に刻み込み、若手社員に日ごろから話し聞かせている。

○「未来は無限に広がっている」

一度、会長と牧野先生と談笑したことがあった。2017年の京都総会で、観光が京都国際マンガミュージアム。一通りマンガの展示を見学し、少し時間があつたので、ミュージアム内（入口）の喫茶店（前田珈琲）で休憩することにした。私を含め三人が同じテーブルに座った。



三人が談笑した
京都国際マンガミュージアムカフェ（前田珈琲）

まず、牧野先生が「マンガは何にもとらわれず自由な発想が出来る」と切り出された。さらに「手塚治虫の世界は当時では空想の産物。だけど、その世界は今の現実。空を人が飛び、宇宙への道は近くまで来ている。空飛ぶ車ももう間近。これは漫画家であるがゆえに、発想に及ぼすすべての障害を乗り越えて生まれた作品こそが未来を創る。これがマンガの威力なんだ」と。会長から「そうなんだ、未来には限界が無い」「人は過去にとらわれ、ここまでしかできないだろうとか、そんなことはあるまいとか、自ら有限の世界を作ってしまう。それは誤りなんだ」と付け加えられた。

ミュージアムで見聞きした漫画の世界に未来をを重ね、思いは限りなく膨らむ。時間が経つのも忘れ、3人で眼を輝かせ談笑したこと、今も鮮明に覚えている。そこでの結論「過去は有限だが未来は無限」との言葉、更に「過去は変えられないが、未来はどのようにもなる」を加えて、生きてゆく上での教訓としたい。

○「人は元をただせば“サル”」

先日、会長宅にお伺いした折、佐藤家には「人の元はサルなんだ」との教えがあると聞いた。以前会長から聞いた記憶もある。あるかどうかわか

らない身分の違いやいろいろな立場の人、成功した人、不遇な人。学歴もあれこれささやかれる。それらすべての人の祖先、それはサルなんだとの教え。すべての人に分け隔てなく接することが大切であることを諭した家訓の一つだと理解した。

これが、最初に記述した心震える会長との出会いを演出する理由だったのだ。

歴史に学ぶとしたらこの一点のみだろう。

私は東京支部の機関誌『時習の灯』で時習館同窓会は会員皆、分け隔てなく飾りなき「布衣の友」なんだから、未来に向け限り無き発展を遂げるだろうと書いた。それは会長の教えを、いや会長の望みを伝えたに過ぎなかったのかも知れない。

○「明日に向けて夢を持ち続けよ」

奥様からの話だが、関西支部の総会に出席することをすごく楽しみにしていた。熊谷さんから送られた折り紙が飾られていた。また、大石さんは画家であり福祉でも活躍されているとの話題も出たとのこと。今は、奥様が「遺影に話しかけても返事がない。寂しいです」と言われていた。

今後は、会長自らちくわを持参してくださるあの姿にもう二度とお目にかかれぬ。「師」を失った今、若干喪失感を味わっている。

時がたてばたつほど悔しい気持ちが募るばかりだが、会長が存命ならば、そんな弱気でどうするのかと叱咤されそうだ。



佐藤会長の笑顔

決して振り返らず、明日に向かい夢を持ち続け進めとの言葉が聞こえる。

その会長の遺志を受け継ぎ、まい進しなければ、やっと前に歩き始めた。私たちの進むべき道を照らし続けてくれた灯が消え、これからは私たち自らが灯をともしながら進

まなくてはならなくなったのである。

その成り行きを会長に遠くから見守っていただけたらと切にお願いし追悼の記とする。

合掌

会員だより [追悼文特集]



「京都国際マンガミュージアム」は 牧野圭一最大の作品である

～牧野圭一先生追悼～



伊藤 遊 (時習 45)

2022年8月14日、大変お世話になった牧野圭一先生がお亡くなりになられた。存命中、関西支部総会案内書の挿絵等を気楽に執筆いただいたり、行事企画等でいろいろアドバイスいただいたりしたこと、皆さんご存じかと思う。先生の死は誠に残念であり、悔しい限りである。

そこで、先生の死を悼み、追悼記事を伊藤遊さんにお願ひし、ここに掲載することにした。
(編集委員会)



牧野先生の遺影

○高校時代での牧野先生との出会い

牧野圭一というマンガ家のことは、1991年に、企画展「牧野圭一ユーモア ART展」(10月16日～11月3日)が、豊橋市美術博物館で開催されるまで知らなかった。当時高校1年生だったぼくは相当のマンガ読みを自負していたが、ぼくにとって「マンガ」とは、コマを割ってストーリーを語る牧野和子——牧野先生の実妹である。——の「ハイティーン・ブギ」のような作品であり、大人向けのいわゆる一コマ諷刺マンガにはほとんど関心が向いていなかったのだ。この展覧会は、牧野先生とのことを知る機会になっただけでない。「マン

ガ」ではなく「ユーモア ART」という造語がタイトルに採用されることで、平面の一枚絵だけでなく、さまざまな素材を使った立体作品も展示されていたが、ぼく自身の「マンガ」の概念を拓けてくれたのだった。

この展示の後だと思うが、牧野先生はさらに、時習館に講演にも来られている。美術科の先生が企画した、希望する在校生のみが参加する小さなイベントである。体育館のような大きな場所ではなく、放課後の教室が会場だった。話の内容はまったく覚えていない。ただ、生身のマンガ家にお会いした初めての機会だったこともあって、先生が話されているお姿、教室の感じなどは、映像として脳裏に焼き付いている。

○国際マンガ研究センターでの再会

この講演会の内容を覚えていないのは、それから十数年後、現在もぼくが所属している京都精華大学国際マンガ研究センターのセンター長として再会し、それ以降、講演会以上の濃密な時間を一緒に過ごさせていただいたからだろう。

国際マンガ研究センターは、2006年にオープンした京都国際マンガミュージアムの研究面を担う形で創られた機関だ。当時、大阪の大学の大学院生だったぼくは、マンガミュージアムの準備メンバーとしてスカウトされ、国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアムに所属することになるのだが、牧野先生は、1994年9月に京都精華大学へ着任されて以来、マンガ家としても活躍されつつ、2008年3月に退職されるまで、マンガ学科長、情報館[大学図書館]長、マンガ文化研究所長、マンガ学部長など、大学の重職を歴任されていた。



京都国際マンガミュージアム正面

○京都国際マンガミュージアム 最大の牧野作品

京都国際マンガミュージアムは、20万点（開館時）のマンガ資料を所蔵し、図書館機能と博物館機能を併せ持ったマンガ関連施設としてオープンした。それまでこうした規模の総合マンガ施設が国内にはほとんど例がなかったため、ある意味、自由な発想でその姿を構想できた。

そうした状況にあっては、大胆でスケールの大きな発想力をお持ちの牧野先生は最強のプランナーである。それまでも、牧野先生は、マンガを、紙の上では収まらないあらゆるメディアとして創作し、マンガ文化とはおよそかけ離れていると思われていた様々な分野と掛け合わせる形で、お仕事の幅を拓けられていた。「マンガ×○○」の「○○」の部分が突飛なものであればあるほど、面白い化学反応が起こる、という発想である。

マンガミュージアムにも、牧野先生によって様ざまな「○○」が持ち込まれ、さらには、そのように新しい「○○」を掛け合わせる実験自体がマンガミュージアムの重要なミッションであると認識されるようになった。そのことによって、この施設は、今あるマンガ文化の形の中で自己完結するような施設ではなくなった。

明治以降の近代的な「ミュージアム」というのはそもそも、失われそうな文物を保護し、後生大事に守っていく、つまり「変わらないこと」が存在意義であるかのような、神聖な場所と考えられていた。もちろん、マンガミュージアムにもそうした側面はあるが、マンガ文化それ自体は、いまだグニャグニャと変容し、膨張している「生きた文化」である。そのような生きた文化をテーマに「ミュージアム」を作ること、つまり、「マンガ×

ミュージアム」という発想自体が大きな実験なのだ、ということに気が付いたのは、マンガミュージアムが開館して少し経ってからだった。固定化したイメージで自らを自己完結させないマンガミュージアムには、さまざまな分野の人々から「一緒に何かできませんか」という提案が次々舞い込んできた。ほとんどは、牧野先生が連れて来てくださった方たちによるものだったのだが。そして、実現した企画はしばしば、誰も見たことのない新しい「マンガ」の形を示すことにもなったのだった。

古いモノを大切に保管するだけでなく、何か新しいことを生み出す実験室でもあること。それこそが、京都国際マンガミュージアムの根幹ともなった牧野イズムである。

○牧野先生の遺産を引き継いで行く覚悟

牧野先生は、マンガのそうした無限の可能性を信じ、それを、ご自身の作品や、数多くのプロデュース企画として形にしてこられた。京都国際マンガミュージアムをはじめ、まんが甲子園や日本マンガ学会など、牧野先生が立ち上げに関わられ、その信念が反映された「場」も少なくない。牧野先生がさまざまな形で「マンガ」の可能性を拓けてこられた姿を、幸いにも隣で見ることができた者としては、その遺産を受け継ぎつつ、さらに面白いものにしていく「実験」を続けていかねば、と思っている。

牧野先生、ありがとうございます。おつかれさまでした。



◆次ページに再録するのは、ぼくが「編集長」を務め、2022年10月～2023年4月まで京都国際マンガミュージアムで展示された「追悼新聞」。データは、マンガミュージアムのページ

(https://kyotomm.jp/news/news_makino_memorial_corner/)からもダウンロードできます。

[協力=京都国際マンガミュージアム]

会員だより

エリア広がる関西支部会員

第 54 回時習館同窓会関西支部総会にて、役員的大幅改選を期に、従来慣習的に扱ってきた会員規定を「本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者、関西地方以西で希望する者および関西地方にゆかりのある者で希望する者とする」とし、正式に会員の枠を広げました。東京の岡田康彦さん、横井愛子さん、富山の藤巻篤子さん、山口の草尾正治さん、福岡の池田和子さん、宇留島美恵さん、鹿児島島の吉福ゆかりさん等に適用されます。今号では、横井さんと吉福さんからの便りを掲載いたします。

東京から ~よろしく！

横井 愛子 (時 21)



○ありがとうございます

神戸から東京に生活の拠点を移し 10 年、関西支部の方々とのご縁を断ち切れ難く、その後、支部行事が行われるたびに、お邪魔しましたね。

それもコロナ禍で、しばらくお休み、寂しい思いでした。

やっと、やっとの知らせ、第 54 回総会が開催されるとのこと。久しぶりに皆さんにお目にかかれました。

その席上、会員枠が広げられるとの粋な計らい。私は「関西地方にゆかりのある人」に入るんだ。近くの後輩からも、うれしいという声、ありがとうございます。

○仕事のため上京

長男と一緒に美噌元（味噌汁専門店）を東京で営んでいます。

「味噌汁で商売になるの？」とたくさんの方から聞かれました。

今や、味噌汁は発酵食品、健康食品の顔。

でも、山あり、谷あり、そしてコロナあり、日々苦労の連続ですが。

「味噌汁最中」「湯葉で包んだお味噌汁」「日本味噌蔵めぐり」いろんな工夫を凝らし頑張っています。(TV で紹介されたので、ご覧になられた方がおられるかも)

関西の店舗は梅田阪神百貨店地下 1 階にあります。お出かけの際は覗いてみてください。

まだまだ、関西との縁は深いです。



梅田阪神百貨店地下 1 階にある「美噌元」

○関西支部との出会い

ずうっとずう～と前の前の日、時 14 回の片岡様からお電話をいただき JKL の発会に伺ったのが始まりです。

西宮柏堂の時 4 回市村様宅で同じく時 4 回長田様のお点前でのお茶会。いかにも女性会にふさわしいものでした。

この会を Jishukan Kansai Lady's の頭文字をとり、JKL と命名しました。

これから何をしようかと真剣に相談したことを覚えています。

活動方針ですが、季節が巡るごとに、関西近郊の名所を訪ねることにしました。故郷から関西に来られた方々の心を少しでも癒すことができればとの思いからです。

○JKL の行事参加

手元に一冊のアルバムがあります。久しぶりにページをめくりながら、あんなこと、こんなこと、楽しい思い出のみが頭に浮かびます。

「有馬のお雛様」「六甲山オルゴール館」「宝塚歌劇観劇」「龍野の春」「田辺聖子ワールドセ

ミナー」「宇治散策」「晩秋の近江散策」「京都散策」「名古屋 JNL 訪問」等。

忙しさについ忘れていた昔の思い出、また、もう長い間お会いしていない方々、ページをめくると蘇ります。だんだんページをめくる速度が遅くなります。時には前のページに戻る等して、当時を懐かしく振り返りました。

そこには学び有り、美味あり、友情あり。なくてはならない絆あり。

懐かしき当時を皆さんにも思い起こしていただけたらと思い、アルバムの中から何枚か写真を添付します。参加された方、??年前のご自分を探してみてくださいませ。



近江商人の館



有馬のお雑様



有馬温泉



2006年堀江オルゴール館・白鹿酒造記念館



2007年 名古屋 JNL の会を訪問

○私が出たものは

JKL に関わらせていただき、大変勉強になりました。特に参加者集め、会計はなかなか大変です。

計画を立てる上で、何人参加されるかにより段取りが変わります。最初人数を想定し、会費を決めるのですが、当日の参加人数が少なければ一人が負担する金額が増えます。そのため、予算上最小参加人数の確保が必要になります。

開催日が近づくにつれ、大丈夫かなと心配する日々が続きます。

今だからお話ししますが、豊橋出身ということで、私の母に参加してもらい人数確保、予算達成できたなんてこともありました。

切手、通信費などのレシートを集め、支部会計時 17 回の花井様に提出し、管理の仕方を教わりました。

商売をしているのですから、会計管理はお手のものと思われがちですが、多人数の会費を取りまとめ管理する方法は、それはそれで異なった難しさがありました。

こうした組織運営の難しさ、私にとっては貴重な経験になったと思っています。

○今後に向けて

私たちの年代から始まった JKL、現代の女性たちの社会進出も目覚ましく、第一線で活躍している中、どんな変化をしてゆくののでしょうか。目的も変わってきています。男女の協力で社会を形づくる時代背景、細部まで目の行きとどく女性の鋭い感性で、新しい支部活動への橋渡し役をいかにして担えるか、今後への期待と不安を併せ持っています。

本原稿を執筆したおかげで、昔を懐かしく振り返ることが出来たと同時に、今までお会いしたすべての人に感謝する気持ちで胸がいっぱいになりました。

会員とは言え、遠くにいるため、日常のお手伝いは無理ですが、可能な限りのご支援をしてゆくつもりです。

皆さんとお会いできること、すごく楽しみにしています。今後とよろしく願いいたします。

鹿児島より ～正会員です！ 吉福ゆかり（時 26）



○関西支部の正会員！

このたび関西支部の規約改定により、「関西地方以西で希望する者」として、私も正式に正会員になれたそうです。

鹿児島に移住してすぐに、前事務局長の伊藤忠男さんに関西支部の会員になるよう誘われ登録してもらいました。詳しいことは知らないままでしたが、今回の規約改定のことをお聞きし、あらためて胸を張って正会員です！と言わせていただきます。

2018年9月に東京から鹿児島に転居して4年が過ぎました。どうぞよろしくお願ひいたします。

2020年『時習館かんさい』第34号に「鹿児島島の魅力～東京から鹿児島へ移住」のタイトルで拙文を書かせていただきました。その時に、移住のことで終の棲家を建てることを話していましたので、その後のことをご報告します。

○家づくりと新型コロナウイルス

家のプランもほぼ決まり、2020年1月に地鎮祭を行い、4月の上棟式では餅まきをやることにしました。鹿児島でも餅まきはあまりやらなくなっているようでしたが、新しい土地に住むには、まず地元の人との交流をしたいと思います。

ところが、思いもよらぬ新型コロナウイルスの流行が始まりました。3月になると大規模イベントが中止になり、外出自粛も言われ、ついに4月16日に鹿児島にも緊急事態宣言が出されました。

しかし、18日の上棟式の餅まきは予定通り決行しました。屋外で時間も短く、上棟餅も注文してお菓子もたくさん用意していたので、やっつけまおう！と。皆さん喜んでくれました。



上棟式での餅まき

○義母の急逝

新しい家の完成を楽しみにしていた義母が、5月に突然、自宅で倒れ、そのまま帰らぬ人となってしまいました。88歳でしたが、元気に独り暮らしをしていたので、まさに青天の霹靂でした。

鹿児島に戻って2年弱でした。もし、まだ東京に住み続けていたら、コロナ禍でお葬式にも帰って来られなかったことでしょう。

桜島が大好きだった義母に、桜島を望む新居に泊まってもらうことができなかつたことがつくづく残念です。

○終の棲家

家づくりはコロナ禍の中でも順調に進み、7月末に引っ越すことができました。鹿児島に移っての仮住まいもちょうど2年でした。幸運が重なり思ったよりも早く家を建て、新たな人生のスタートを切ることができました。

新しい家に、新しい土地に慣れることは、歳を重ねると時間も体力もよりかかるものだとつくづく感じています。「老後に移住!」とよく聞きますが、そう思っていたら、できるだけ早く少しでも若いうちに行動した方がいいですよ。

私たちは定年退職した老後をのんびりと過ごそうと思っていますが、この地区はもっと年配の高齢者が多く「若い人がきてくれた」と言われ期待されてしまっています。まだ新参者ということで、自治会のお役は免除されていますが、そのうち何かの係を担当しないといけないようです。

○楽しい隣人たち

私たちが出合った土地は、不動産屋が空き家とその周囲を開発し、新たに3つの宅地に区分した売り地でした。隣地はすでに売却済、道路をはさんだ南側のお向かいには新しい家が建築中で、残り一区画でした。3軒ともこの地区の新たな住人で、最初から仲間意識があり親しくなれました。

お向かいの若夫婦には昨年末に男児が誕生し、今年は我が家の目の前に鯉のぼりが上がりました。その子の成長を楽しみにしています。



鯉のぼりと桜島

○美しい田園

住所は霧島市隼人町小浜（おばま）。小浜地区は山と海に囲まれ田畑が多くあります。我が家

の前の道を奥へ行くと、美しい田園が広がっています。朝早くから軽トラックが行き来し、時期によっては耕運機や田植え機、稲刈りのコンバインなどが出動し、それらを見送るのも楽しいです。

農作業をされる方々とも顔見知りになり立ち話をします。私が愛知県出身だというと、「自分は若い時に愛知県の工場に勤めていた」と親しみをもって話してくれる人が何人かいて驚きます。さらに「豊橋は行ったことないけど、豊川稲荷には行った」と言われます。



歩いてすぐの田園風景。電車は JR 日豊線

この原稿を書いている今は、2022年9月、コロナ感染第7波のピークも過ぎ、さまざまなイベント等が行われるようになっていきます。

新しい家に移って2年が過ぎ、やっと豊橋の親戚や東京の友人たちにも遊びに来てもらえるのでは、と楽しみにしています。



徒歩10分の小浜海水浴場／錦江湾と桜島

時習館同窓会関西支部規約

第54回時習館同窓会関西支部総会にて改正

1. (名称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事務局) 〒530-0037 大阪市北区松ケ枝町6番1号グロウビル505
竹内総合法律事務所(代表 竹内隆夫)に置く。
4. (会員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者、関西地方以西で希望する者および関西地方にゆかりのある者で希望する者とする。
会員の構成として、「正会員」を基本とするが、卒後50年経過したものを「シニア会員」、大学に在住しているものを「学生会員」と称する。
5. (役員) 本会に次の役員をおく。

支部長	1名
副支部長	若干名
理事	若干名
事務局長	1名
会計	1名
監事	若干名
広報	若干名
6. (役員任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員職務)
 - (1) 支部長は本会を代表し、会務を統括する。
 - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
 - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
 - (4) 事務局長は会務の事務、情報および調整業務全般を掌理する。
 - (5) 会計は本会の会計業務にあたる。
 - (6) 監事は本会の会計監査にあたる。
 - (7) 広報はホームページ等により内外に会務の情報を発信する。
9. (総会)
 - 9-1 総会は会員をもって構成し、原則として毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
総会は支部長が招集する。
総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
 - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
 - (2) 新年度の収支予算
 - (3) 役員選任
 - (4) 規約の改廃
 - (5) その他の重要な事項
 - 9-2 諸般の事情で通常総会開催が困難な場合、郵便投票またはオンラインによる総会開催に替えることができる。
10. (理事会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。
理事会は総会にかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。なお、あらかじめオンライン環境が整えられている場合は、オンラインによる出席も認めるものとする。また、通常開催が困難な場合、郵便投票またはオンラインによる投票も出席と見なすものとする。
12. (経費) 本会の経費は、会費、本部からの支部支援金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会計年度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (個人情報の管理等) 本会は、本会の管理及び運営等に資するため、母校、本部及び会員等から取得した会員の個人情報につき、関係法令を遵守し、適切に管理、運用するものとする。なお、詳細は別途プライバシーポリシーに定めるものとする。
15. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。

支部だより

支部役員と 支部活動





人脈の架け橋としての同窓会に

～事務局長就任にあたり～



河合 行朗（時習 20）

○自己紹介

第 54 回の総会で事務局長の任を仰せつかりました 20 回生の河合行朗です。

学生時代から京都住まいです。途中、勤務地の変更で愛知県小牧市に 1 年、兵庫県加古川市に 6 年、埼玉県大宮市に 3 年住んでいました。転職を 1 回経験していますが、油脂メーカーの研究職から営業職に移り、64 歳で退職後も東京の会社の契約社員（営業顧問）として仕事を続けています。

仕事の内容は経験を活かせる分野で、楽しみながら続けています。（そろそろ引退勧告が出そうですが？）。

○同窓会とのかかわり

時習館卒業後の同窓会とのつながりは、卒業 25 周年（43 歳）での本部総会の幹事学年からでした。数年前から準備（クラスごとの安否確認とクラス会）を通して学年全体の交流が盛んになったことから始まりました。その後、ほぼ 5 年ごとに一泊二日のイベントを実施して参りました。そして 5 年前に卒業 50 周年の本部総会を体験し、人生のひとつの区切りを終えたようで感慨深いものがありました。

さらに別途正月と盆に同級生の店に集まり親睦会（ホームページ：20 回にちなんで「にれの会」を通して情報交流）を続けて参りました。残念ながらコロナ感染予防で中止が続いています。今年のお盆での再開を期待しています。

関西支部とのつながりは 50 歳を超えてから仕事の関係で前支部長の石川さんと知り合い、

総会への参加が始まりました。総会以外のさまざまな行事に参加することが面白くなり、いつの間にか事務局長補佐になっていました。

3 年間続いたコロナ感染予防生活、やっと復活の可能性が見え始めてきました。

対面での活動が制限されましたが、スマホ・PC を利用した進んだ意思疎通の方法を体験することができました。（LINE、Zoom、Teams など）

○同窓会の役割と期待

同世代のつながりを体験し、広げていく。

総会を初め、同窓会の行事に参加することでまず同級生のネットワークに触れ、そして先輩・後輩としての人脈が作り上げられると思います。

人の価値観はさまざまです。時習館高校で学んだ事を共通の経験としての絆は人生を重ねるに従ってとても面白いと感じるようになってきました。

楽しんで参加できるような同窓会活動を進める一助になればと思っています。

つなぎ続けることで次の世代の同窓生の参加の場をなくさないことが大切です。

微力ではありますが、精一杯努力して参ります。会員皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

履歴追加：仕事以外の経験

自治会活動（自治会長 5 年経験）

建築協定運営委員会

支部だより

**第 54 回時習館同窓会関西支部総会にて
新役員体制が承認される**

2022年度 時習館同窓会関西支部役員

広 報 担 当	顧 問 事 計	監 事	会 員	理 事 務 局 長	副 支 部 長	支 部 長																												
松井誠一郎	伊藤忠男	石川吉忠	鈴木省三	花井俊作	尾野文香	峯島望美	久本美愛	東木孝子	鈴木富美	近場奈都	馬場津英	阿部詠太	鬼塚裕二	和泉太裕	森下庸立	宮崎裕立	中西西井	松岡木根	鈴木利根	長野田	岡村節子	堂本浩哉	鈴木信弘	山田和弘	藤合行郎	河合一朗	松北井郎	鈴木川子	米田隆子	松木優子	竹内隆正			
(時 27)	(時 13)	(時 12)	(時 21)	(時 17)	(時 56)	(時 44)	(時 44)	(時 44)	(時 36)	(時 35)	(時 32)	(時 30)	(時 27)	(時 27)	(時 25)	(時 24)	(時 23)	(時 22)	(時 21)	(時 21)	(時 20)	(時 20)	(時 19)	(時 18)	(時 18)	(時 17)	(時 15)	(時 20)	(時 27)	(時 27)	(時 26)	(時 21)	(時 14)	(時 21)

初めて役員になられた方の紹介

～新監事～



**監事役を
きっちり！**



鈴木 省三 (時 21)

わたくしは竹内支部長と同期の21回卒です。昭和25年の寅年生まれ。去年は年男で72歳になりました。生まれは静岡県浜松市ですが、父親の出身地豊橋市船町で育っています。松葉小学校、豊城中学校から時習館に進みました。昭和44年に高校卒業後は東京で進学しました。昭和48年に銀行に就職し、昭和61年36歳の時大阪に転勤になりました。今までの人生の前半は、豊橋と関東、後半は関西といった感じです。豊橋を離れてからは浮き草暮らしで、20年

ほど前にしばらく現在の終の棲家にたどり着いています。銀行(29年)、メーカー(18年)で勤務し令和元年6月に69歳を目前に仕事を終えました。退職した当初はちよっぴり寂しい気持ちもありましたが、今は全ての時間を自分のために使える自由人を楽しんでいます。

人生100年時代にあっては、年長者の方から見れば、72歳は、はなたれ小僧でしょうが、年相応に体の部品は劣化してきています。今は人生8掛だそうですから、実年齢はともかく気持ちだけでも若返りたいと思い、現在、食生活の改善と自己研鑽に取り組んでいます。昨年、今までで最長の11日間の入院を経験し、その折食事療法を受けました。まず野菜から摂り、タンパク質や炭水化物は後から食するという簡単なものです。結果は、お腹周りの脂肪が落ち無理なく半年間で5キロ減量できました。今ひとつは、昨年からのボケ予防のため、地元のシルバーセンターが主催する「英文社説を読む会」に加入しました。参加者は15名ほどですが、失礼

ながらお年の割には皆さんお元気でしっかりされています。90歳に近い御婦人がスラスラと英文を読み和訳されるのを見ると、こういう方にはボケが遠慮して寄りつかないようです。お手本にしたいと思います。

さて昨年6月の総会で会計監査を仰せつかりました。総会前に竹内支部長から会計監査のお話を頂き、今後総会に参加するのであれば何か支部のお役に立てた方が良くとの思いもありお引き受けした次第です。支部の会計は花井先輩が完璧にされておられますので、自分の役回りとしては、総会に出席して皆様の前できちんと

監査報告することと思っています。

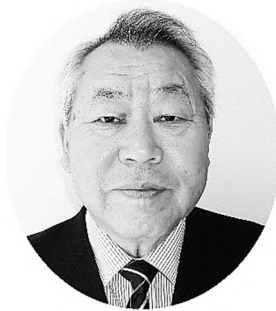
最後に、昨年の総会に初めて出席して、竹内支部長の挨拶の中で時習館同窓会関西支部の歩みを知ることができ、また特別講演や阿波踊りも楽しませていただきました。もっと多くの同窓生に見てもらわないともったいないような素晴らしい内容でした。担当地区の幹事さんが心を込めて作り上げている総会であることを実感しました。現役時代はなかなか参加しづらいたと思いますが、若い方々にもっと多く来ていただき関西支部がますます盛り上がっていくよう願っています。

～新理事～



天引の千体地藏

新しい風を！



西井 完（時 22）

22回生の西井完です。住まいは京都府園部町の天引です。

私は、大学を卒業して、京都府に府職員として就職することとなりました。その時、時習館の先輩で、地元の内科医院の神谷重院長（豊中45回生）に、あっちには時習館関西支部という組織があるから、必ず入会しなさいとアドバイスを受けました。私は京都に来て、さっそく入会しました。

毎年、素晴らしい会誌が届き、その活動状況がよくわかりました。しかし、総会に出席するのは、二の足を踏んでおりました。

伊藤忠男先輩（時習 13）から、22回生がないから出て来いと、何度も誘われておりました。ようやく総会に出席したときは、すでに還暦を迎えておりました。

以来、毎年、総会を楽しみにしており、時習サロンにも、参加させてもらっています。

関西支部では肩身の狭い 22 回生ですが、豊

橋では、22回をもじって「虹の会」を結成して活動しております。毎年の夏、豊橋花火を鑑賞し、懇親を図っておりまして、卒業 50 周年を祝う集いも盛大に行う企画をしておりました。

しかし、50周年を迎えた年に新型コロナが発生して、すべてが中止となり、未だ開催できておらず、忸怩たる思いでおります。

関西支部は、昨年、なんとか総会の開催にこぎ着けましたが、まだ先行きが見通せません。

すべての伝統文化を壊してしまった新型コロナですが、ポストコロナでこれを如何に復活させるか、知恵の出どころと心得ます。

古稀を過ぎた私で、あまり役に立ちませんが、少しでも新しい風を吹き込めれば、と考えております。よろしくお願ひします。



お役に立てば！



和泉 裕子（時 27）

結婚して関西へ来て 40 年になります。現在兵庫県の川西市に住まいしています。その間、見事に何もせず自己紹介になるような事もなく今日まで専業主婦で来ました。

息子 3 人が小さなころにはパートに出ること

もできず、小中学生のころには周りの“悪ガキ”に誘い込まれないように家にいて見守る必要がありました。

想えばこのころが一番しんどい時でした。

ようやく息子たちが自立して結婚したら、今度は新城の母が特にコロナ以降怪しくなっていて、いつでも馳せ参じる必要が出てきました。

これまで順風満帆ではなく事件も事故もありましたが、今では何とか楽しい老後を送れるようになったと思います。

皆さまと同じように友人たちは関西、関東、いろいろな地域の方々ですが、地域によって性格と申しますか物の見方考え方が違うように思えます。

同じ三河の人は何か安心してお話ができるような気がするの私の先入観でしょうか？とは言え、やはり 40 年の重みはあるようで関西人の考え方がどうも染みついてきたような気がします。若いころの何事にもこだわらないあっさりした考えが懐かしくもあり、相応の年齢になったからなのかとも思います。

社会経験もなくいささか頼りない私ですがお役に立てれば幸いです。よろしくお願ひします。



頑張ります！



峯島 望美 (時 44)

この度新役員となりました時 44 回の峯島望美です。オペラ歌手をしております。高校卒業後、東京の音大に進学し、その後渡欧、ウィーンで長年暮らしておりました。それまで関西にはあまり縁がなく、知り合いもほとんどおりませんでした。そのような中、関西支部に入会し、皆さまと仲良くさせていただけたことをとても幸せに思っております。高校の同窓会がこんなに楽しく温かいものとは知りませんでした！ご縁に感謝し、新役員として少しでも皆さまのお役に立つことが出来ればうれしく思います。

関西支部の新役員もそうですが、このところ P T A 役員であったり、所属する協会の役員であったり、そういう立場になることが増えました。音楽ばかり自由にやってきましたので、この年になりようやく社会勉強をさせていただいていると、新社会人のようなフレッシュな気持ちであります。若さを保つ秘訣！と思って頑張ります(笑)どうぞよろしくお願ひいたします。

7 年前から、毎年豊橋の小学校で芸術鑑賞会をさせていただいております。クラシック音楽と演劇を融合し舞台芸術を身近に楽しんでもらえるよう、オリジナル歌芝居“シンデレラ”や“かぐや姫”をコメディ仕立てでお届けしております。今年度は中野、花田小学校で開催し、来年度は天伯、松葉小学校での開催を予定しています。最近、豊橋の小学校では部活動は全廃となり、外部の講師が放課後に講座を開くという「のびるん de スクール」というものも始まりました。こちらの講師としても小学校の皆さんと交流する機会を得ております。児童の皆さんが楽しく音楽に触れ、芸術を愛でる喜びを見出させていただくお手伝いできればいいなど、このような活動も続けていきたいと思っております。

芦屋仏教会館で毎年開催していたリサイタルが、新型コロナ感染拡大の影響でしばらく出来なかったのですが、今年は開催再開となり、11 月 25 日(土)に予定しております。ぜひ関西支部の皆さまにもご来場いただければ幸いです。また地元豊橋では、7 月 29 日(土)に穂の国とよはし芸術劇場プラットにてリサイタルを予定しております。

関西支部新役員として、また時習館卒のオペラ歌手として、皆さまとステキな時間を一緒にさせていただくことを楽しみにしております！

関西支部は竹内支部長、河合事務局長を軸に、新たな体制で臨むことになりました。今までの慣習にとらわれず、多くの方々の意見を取り入れ、一層発展してゆくことでしょうか。新たに加わる役員の方々の活躍に期待いたします。
編集委員会

行事報告



近いがゆえに行き難い観光地 「ちょっと間の楽しみ」

小野 英道 (時 13)



多人数の集まりが出来ないコロナ禍で、ちょっと間を見つけ、有志で声を掛け合い楽しむ近場の日帰り旅。2020年度から続けています。

今年で3年が経過しました。今年度2022年は近いがゆえに行きそびれている観光地を訪れることにしました。

関西は以前、海外から最も多くの観光客が訪れ、地下鉄も満員でした。しかし、コロナ禍になり、各国とも海外渡航が禁止され、全くと言って良いほど観光客の姿が消えました。

不謹慎ですが「今が…」との思いで集まり、秋口の景色を思いのまま楽しみました。

○ 通天閣と新世界と動楽亭

(2022年9月7日)

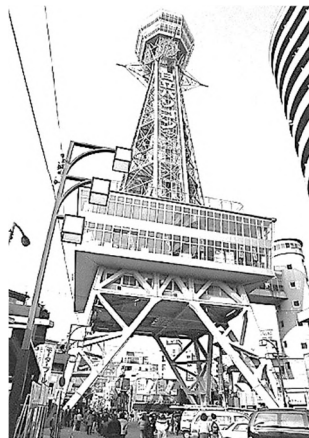
大阪と言えば大阪城と通天閣と言われるほど有名かつありふれた観光の名所。

そこで、声を掛け合い、5人(伊藤さん、片岡さん、園家さん、米田さんと私)が通天閣を目指して集まりました。

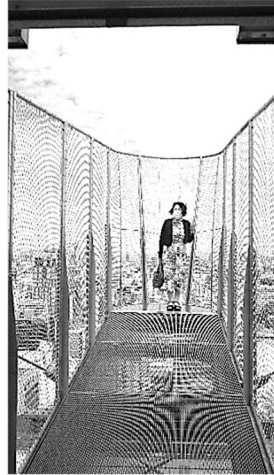
地下鉄阪堺線「恵美須町駅」からすぐ。予想通り訪れる客は少なかったです。

切符を買いエレベーターで頂上まで。展望デッキに向かう前にプロ写真を撮りを撮り観光客気分。帰りに手渡されるとのことです。

展望デッキでは、東西南北、大阪の街が一望に見えます。あれが南港、あそこに大阪城が、ならばあれは府庁か。あれこの緑の場所は、そうか、ここは動物園。通天閣から見るとその広さが良く分かります。



恵美須町駅から見上げる通天閣



張り出しデッキで米田さん、おっかなびっくり

そこに展望張り出しデッキがあり、米田さんと伊藤さんがトライしました。透き通った強化プラスチックの上、真下に道路が見えます。高所恐怖症でなくても足がすくむ思いがするとのこと。皆さん、一度経験してみたいはいかがですか。



展望デッキに上がる前に撮った観光客向け写真

帰りは、タワースライダー(滑り台)で中間展望台3階(地上22m)からEV塔の外周を周回して地下1階まで一気に滑り降りる計画をしていますが、65歳以上は利用できないと言われて断念。先ほど撮った写真を受け取り、通天閣を後にしました。その後、新世界をぶらぶら、昼食後、動楽亭に向かうことになりました。

私は以前、よく訪れた米朝一門の落語、久しぶりの出会いです。桂ざこばは病を患ったと聞かされていましたが、それを押しての久しぶりの高座。その病すら笑いに変える話術は見事です。

人を引き付ける力は、笑いのネタの面白さだけではなく「話すことばの“間”」にあるようです。

皆で大笑い、笑うということは良いですね。すべてを忘れ、心と体を元気づけます。足取り軽く3時過ぎ、帰りの途に就きました。

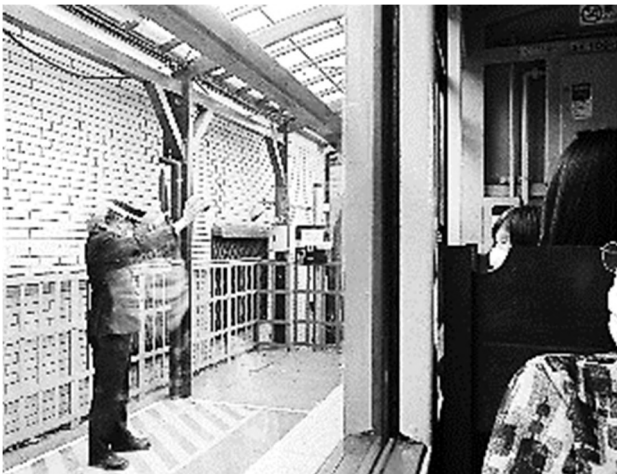


動楽亭の出入り口で（左が筆者）

○トロッコ列車で秋を満喫

（2022年10月27日）

京都の秋と言えば嵐山。秋本番間近の10月下旬に訪れました。嵐山に集合したのは4人（伊藤さん、片岡さん、米田さんと私）でした。念願のトロッコ列車に乗ろうということになり、駅長さんの手振り身振りのパフォーマンスに送られトロッコ嵐山駅を出発。



トロッコ嵐山駅を出発
見送りは駅長さんのユニークなパフォーマンス

保津川沿いの紅葉を楽しみながら亀岡に向かう列車旅。紅葉だけでなく、川の両岸は山々が連なり、河原には大岩・奇岩巨石が点在しています。残念ながら、変化に富んだ景色に目を奪われ、カメラのシャッターを切るのを忘れていました。ゆっくりと悠久の時間が流れる気楽な旅、これぞ極楽と言えるひと時ですね。



トロッコ列車「嵯峨野」を背景に
念願叶い「ドキドキワクワク」の参加者。右が筆者

トロッコ亀岡駅に着いたのは昼近くでした。昔の面影が残る田園地帯、鳥が飛び交う川面、懐かしい日本の原風景が広がっていました。駅横から焼きマツタケの香り、ちょっと食欲をそそられましたが、予算の関係で見送り、市街地に向かいました。人は空腹になると無口になります。もくもくと歩き、やっと古民家風のレストランを見つけ、ようやく、いつもの賑やかな会話が戻ってきました。

帰りは少し疲れ気味、トロッコ列車の座席に座り、行きとは逆の景色を楽しみながら嵐山に戻ってきました。



トロッコ列車から見た保津川
（保津川下りの舟が見えます）



トロッコ亀岡駅で
伊藤さん（右）と私（筆者）
後ろに見えるタヌキは縁起物
最高のおもてなしとか

気楽な「ちょっと間の旅」も板についてきた感じですが。これからも続けたいと思います。皆さんも計画を立てられたらいかがでしょうか。すぐ近くには思い立ったら行ける素敵な場所がたくさんあります。

次は「季節の花めぐり」を予定しています。



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ
ゴルフ会幹事 利根川 躍 (時習 21)



時習館同窓会関西支部では例年春と秋にゴルフコンペを開催しています。2022年は6月5日(日)に神有カントリー倶楽部で、また11月28日(月)に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催しました。両日とも幸い好天に恵まれ、楽しいゴルフ会になりました。参加されたことのない方も次回はチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

○ 第43回 (2022年6月5日)

於 神有カントリー倶楽部

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、花井俊作 (時 17)、
山村信哉 (時 17)、岡田順子 (時 20) 夫妻、
鈴木 自 (時 20)、青山 寛 (時 21)、
利根川躍 (時 21)、藤井順子 (時 28)、
ゲスト N・N氏

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	51	41	92	24.4	67.6
2位	45	46	91	20.8	70.2
3位	45	43	88	17.2	70.8
4位	56	55	111	38.8	72.2
5位	47	44	91	18.4	72.6
6位	51	54	105	30.4	74.6
7位	58	56	114	38.8	75.2
8位	49	52	101	25.6	75.4
9位	68	68	136	59.2	76.8
10位	57	58	115	32.8	82.2



第43回大会参加者写真

○ 第44回 (2022年11月28日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、花井俊作 (時 17)、
山村信哉 (時 17)、岡田順子 (時 20) 夫妻、
河合行朗 (時 20)、鈴木 自 (時 20)、
青山 寛 (時 21)、鈴木晴久 (時 21)、
利根川躍 (時 21)、ゲスト N・N氏

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	50	48	98	25.2	72.8
2位	51	46	97	24.0	73.0
3位	58	55	113	39.6	73.4
4位	48	54	102	27.6	74.4
5位	51	52	103	27.6	75.4
6位	52	53	105	28.8	76.2
7位	46	50	96	19.2	76.8
8位	55	57	112	34.8	77.2
9位	55	57	112	33.6	78.4
10位	80	73	153	72.0	81.0
11位	54	62	116	33.6	82.4



第44回大会参加者写真


事務局 から

お知らせとお願い




▼▼▼LINE 公式アカウントへのご登録のお願い▼▼▼


事務局では、みなさまへの連絡手段を、より早く、便利に行うため、LINE 公式アカウントへのお友達登録をお願いしています。下の QR コードを読み込み、ご登録をお願いいたします。



**時習館同窓会関西支部の
LINE公式アカウントへお友達登録する**



**スマートフォンで
右のQRコードを
読み取ってください**



もし LINE よりも e メールの方が便利だという方は、メールアドレスをお知らせください。事務局のメールアドレスはこちらです。➡ jishukan.alumni.kansai@gmail.com

お知らせの際は、氏名と卒業回を記載いただけますと幸いです。

参考：

jishukan.alumni.kansai@gmail.com
件名：メールアドレス登録
氏名：
卒業回：

第 54 回時習館同窓会関西支部総会にて 時習館同窓会関西支部プライバシーポリシーが承認される

本プライバシーポリシーは第 54 回総会において承認された規約「14. (個人情報の管理等) 本会は、本会の管理及び運営等に資するため、母校、本部及び会員等から取得した会員の個人情報につき、関係法令を遵守し、適切に管理、運用するものとする。なお、詳細は別途プライバシーポリシーに定めるものとする」に従い定めたものである。

時習館同窓会関西支部プライバシーポリシー

時習館同窓会関西支部（以下「当支部」という）では、会員相互の親睦を図るため、同窓会総会、会合の開催その他当支部の目的達成に必要な業務を行っており、それに必要な会員の個人情報を収集・保管しております。

当支部は会員の個人情報保護の重要性を強く認識し、当支部規約に従い、以下の通りプライバシーポリシー（以下「本ポリシー」という）を定め、会員の個人情報の適切な保護に努めます。また、今後とも個人情報への意識向上を図り、個人情報の取り扱いには細心の注意を図ってまいります。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

【法の遵守と個人情報の管理】

当支部では「個人情報保護に関する法律」やその他個人情報に適用される関係法令を遵守するとともに、一般に公平と認められる個人情報の取り扱い慣行に準拠し、本ポリシーの下で、個人情報を厳重に管理致します。また、紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、情報セキュリティ対策等の必要な措置を講じ、個人情報の保護に努めます。

【個人情報の定義】

当支部での個人情報とは、会員個人に関する情報であって、特定の会員を識別できるものをいいます（その情報のみでは識別できない場合でも、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の会員を識別できるものを含みます）。

なお、具体的に当支部が保有する個人情報は、氏名（現姓名、旧姓名）、生年月日、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、勤務先名、最終学歴、所属クラブ（在学時代）、メールアドレス、卒業回及び出身小・中学校等です。

【個人情報の利用目的】

当支部は、本会会員よりいただいた個人情報は以下の目的に利用するものとし、その目的を超えて利用することはありません。

- ① 当支部の主催する業務などの報告、案内、及びそれにかかる連絡事項の送付。
- ② 会報等（電子媒体によるものを含み、当支部の活動目的に適うものに限る）の配布。

- ③ 会費、寄付金の收受管理、会費徴収にかかわる事務、案内。
- ④ 当支部もしくは時習館高校、時習館同窓会本部および同窓会他支部からの各種依頼の伝達・送付。
- ⑤ その他、当支部の規約に定める、会員相互の親睦を図る目的の遂行のために必要と判断される諸業務。

【業務委託先に対する個人情報の提供、監督】

利用目的に係る業務を行うにあたり、その業務の一部を委託し、利用目的の達成に必要な範囲内で業務委託先に提供する場合（会報の印刷、郵便物の発送等）は、業務委託先との間で取り扱いに関する契約を取り交わし、適切な管理を行います。

【個人情報の第三者への提供】

当支部が保有する個人情報は、第三者に提供致しません。ただし、次のいずれかに該当する場合は除きます。

- ① 会員の同意がある場合
- ② 法律に基づき開示しなければならない場合
- ③ 当支部の合意の下、時習館高校、時習館同窓会本部もしくは他の同窓会支部が、その利用目的の範囲内で利用する場合
- ④ 人命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合。

なお、個人情報の第三者への提供を望まない場合は、当支部までお申し出ください。お申し出がない場合は、原則として本ポリシーに従い取り扱い致します。

【個人情報の開示、訂正、削除等】

当支部は、本人からの開示、訂正、削除の請求があった場合は、当該本人であることを確認のうえ、速やかに対応致します。

【免責事項】

当支部は、本ポリシーに則り適切に情報管理を行いますが、会員が個人的に所有する他の会員の個人情報を提供した場合は、当支部は一切の責任を負わないものとします。

【本ポリシーの改定】

本ポリシーの改訂は理事会にて行うことができます。改定した場合は速やかに、当支部の電子情報にて一定期間掲載するなど必要な措置を講じます。

【お問い合わせ】

当支部の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

時習館高校同窓会関西支部事務局

〒530-0037

住所 大阪市北区松ヶ枝町6番1号グロウビル505 竹内総合法律事務所

Tel : 06-6949-8601

E-mail : jishukan.alumni.kansai@gmail.com



会員の動静

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします。

- ☆豊47 春山 丈男 ☆豊49 花田 庄司 ☆豊49 福井 信雄 ☆時5 白井 富久
 ☆時8 牧野 圭一 ☆時8 山崎 修 ☆時12 大谷 隆允 ☆時13 荒島 康守
 ☆時13 中山 憲次

2013年度または2018年度発行の時習館同窓会会員名簿に記載されている関西在住者の内、転居されたと思われる、その後の住所が不明な方のリストを記載いたします。

住所不明者リスト

豊中～時20	時21～時34	時35～時44	時45～時55	時56～
平野 謙二 (豊44)	原田 哲二 (時22)	米虫 清子 (時35)	太田有希子 (時46)	木戸口慎吾 (時56)
野村 昭彦 (豊46)	青木三智子 (時22)	小林 隆典 (時36)	能村 賀子 (時50)	木下幸太郎 (時56)
佐藤 達也 (豊47)	兵藤 匡邦 (時25)	松田 学 (時37)	内垣 予 (時51)	横田 美有 (時56)
井上 守也 (時4)	新井 明子 (時26)	村松 忠信 (時37)	野中 良祐 (時51)	浅尾 光星 (時57)
山田 喜義 (時6)	松井 茂記 (時26)	田中 恵 (時39)	加藤 直諒 (時53)	櫻井 研吾 (時58)
岩崎 佑二 (時10)	白川 和志 (時31)	中内 佳奈 (時40)	住吉 稔 (時53)	横田 幸介 (時58)
八幡 寿子 (時11)	竹内佐知江 (時33)	梅原 大祐 (時42)	高瀬 貴宏 (時54)	浅野実夏子 (時61)
桑島 壮吉 (時12)	竹内 浩史 (時33)	福田 裕子 (時44)	馬場慎太郎 (時54)	佐藤 敬久 (時61)
田中 洋澄 (時12)	山本 英司 (時33)		山田 美慧 (時54)	菅河さゆみ (時61)
早川 克典 (時15)	佐藤 雅章 (時34)		澄野 健人 (時55)	江島 大智 (時64)
諸星 郁子 (時15)				植村 優惠 (時66)
大羽 禎子 (時16)				倉橋 李奈 (時66)
暑地 正伸 (時17)				園部 華子 (時66)
鈴木 圭三 (時17)				槇嶋理華子 (時66)
寺沢 礼康 (時20)				村松 直香 (時66)

5年経過した方については本リストから削除させていただいています。

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

会員の動静をお知らせ下さい

2018年に発行された時習館同窓会名簿をもとに、関西地区及び関西地区以西（希望者）在住者および関西と縁のある方を会員登録しています。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で総会・懇親会及び各種行事のご連絡を差し上げています。

ご連絡するにあたり、住所が分からなくなった方（住所不明者）、あるいは、関西地区在住者でありながら名簿から抜けている方がおられるかと思えます。ご存じの方がおられるか、また、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも**事務局（竹内総合法律事務所内 竹内支部長）**または**山村編集委員長**まで郵便、FAX、Eメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）または登録後にラインでのご連絡をお願いいたします。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知いただけたらありがたいです。

- ①卒業年次 ②氏名（旧姓も） ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先（所在地・屋号・職務など）
 あるいは卒業または在学名（詳しく科別も記入） ⑥（公開してもよい）電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

会計からのお知らせとお願い

2022年度 年会費納入額 (2023年3月31日現在)
 シニア会員 265,000円 正会員 92,000円

会員の方々のご協力により、同窓会活動を維持してまいりました。今年度はシニア会員101名、正会員45名の方からの年会費の納入がありました。ありがとうございました。



年会費の納入をよろしく御願ひ致します

日頃から時習館同窓会関西支部の活動にご協力いただきありがとうございます。

当同窓会の活動は会員の皆様の年会費によって運営されております。機関誌『時習館かんさい』の発行、他支部との交流、時習館関西のホームページの維持管理、総会の計画と準備等支部活動費に使わせて頂いております。会費は皆様と共により充実した活動を行っていくための大きな力となっております。同窓会が母校を支え、会員相互の親睦と啓発を支えるため、活動を継続・発展できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、振込は下記にてお願いいたします。

年会費振込について

従来通り、『時習館かんさい』の郵送と併せ、ゆうちょ銀行の振込用紙を同封しておりますが、今年から銀行口座も設けることに致しました。お近くの窓口のほか、インターネットでの入金も受け付けておりますので、ご利用しやすい方法でお振り込みをお願い致します。

尚、銀行振込の際は、お名前の前にご卒業の回を入れて戴ければと思います。

三菱UFJ銀行
 住吉支店 (店番 513)
 普通 0071325
 名義 時習館同窓会関西支部

正会員2,000円、シニア会員は一口(1,000円)以上をお願いしています。なにとぞ、ご理解の上、ご支援、ご協力のほど、お願い申し上げます。

会計 花井俊作



『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。「私の1枚！」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX（写真は郵送かEメール添付で）」でお願いいたします。

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312
編集委員長 山村 信哉
TEL & FAX : 0797-74-4858 E-mail : nobu8yama@gmail.com

編集後記



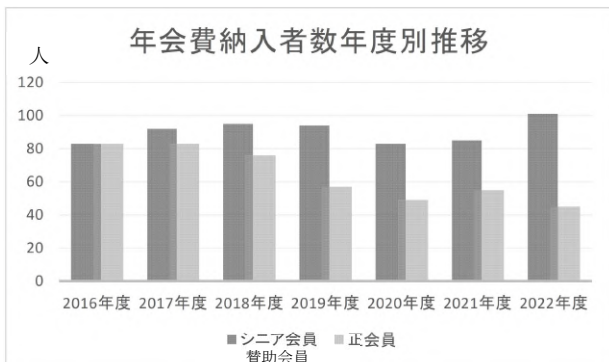
「つい、足を運びたくなる同窓会」に

～若い人も楽しめる～



○高齢化の波は同窓会にも

『時習館かんさい』37号を編集しながら驚いたことがあります。納入者の年代層が極端に高齢化していたことです。そこで、少し遡って比較してみました。2016年度はシニア（賛助）会員と正会員が同数でした。それが、2017年ころから正会員の数が減り始めました。2022年度は正会員の納入者数が全納入者数の1/3以下になりました。シニア会員は変わりません。若い方が顕著に減ってきています。



○その原因は何でしょうか

「社会全体の高齢化」が背景にあります。しかし、そればかりではなく、多様化する社会の中で「若い人が同窓会に魅力を感じなくなってきた

いる」のも理由の一つといえるでしょう。2017年度から減少していることを考えると、コロナ禍という不測の事態に見舞われる前からその兆しが現れたこととなります。若い人に同窓会の楽しみを見出す余裕がないのかも知れません。「何があっても、同窓会の楽しさには負ける」。そんな魅力があれば、こうした傾向は食い止められるに違いありません。

○同窓会の発展に欠かせない若い人たち

前ページで、会計から「会費は皆様と共により充実した活動を行っていくための大きな力」との指摘があり、その推移は活動のバロメーターになっています。このままだと、衰退する危惧すら抱きます。三役役員の世代交代を機に、若い人の意見も聞きながら、魅力ある同窓会が望まれます。全世代が手を取り合って親睦を深めてこそ我が同窓会です。「つい、足を運びたく



なる同窓会」を合言葉に、今後のさらなる発展に向け、皆さんと共に頑張っていきたいと思えます。

編集委員会

